

北海道議会時報

令和元年第3回定例会

北海道議会事務局

も く じ

議会日誌	1
令和元年度北海道補正予算の概要	2
第3回定例会	
概要	3
本会議	4
提出案件	19
決議案	22
意見案	23
請願	30
委員会の動き	
議会運営委員会	31
常任委員会	34
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	43
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	50
資料	
第3回定例会において議決を経た条例の公布調	72
7月・8月・9月の出来事	73

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産

議 会 日 誌

▶ 8 月

- 6 日(火) 各常任委員会
- 7 日(水) 各特別委員会

▶ 9 月

- 3 日(火) 議会運営委員会
各常任委員会
- 4 日(水) 各特別委員会
- 9 日(月) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
- 10 日(火) 議会運営委員会
[第 3 回定例会開会]
本会議 (議員派遣の報告、会期決定
(25日間)、提案説明)
議場コンサート
- 13 日(金) 議会運営委員会
本会議 (代表質問 (2 人))
- 17 日(火) 議会運営委員会
本会議 (代表質問 (2 人))
- 19 日(木) 議会運営委員会
本会議 (追加提出議案説明、一般質
問 (6 人))
- 20 日(金) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 (6 人))
- 24 日(火) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 (4 人))
- 25 日(水) 議会運営委員会
本会議 (一般質問 (7 人)、予算及
び決算特別委員会設置)
予算特別委員会 (正・副委員長の互
選、2 分科会設置)
予算特別委員会第 1・第 2 分科会
(正・副委員長の互選)
決算特別委員会 (正・副委員長の互
選、2 分科会設置)
決算特別委員会第 1・第 2 分科会
(正・副委員長の互選)
- 27 日(金) 予算特別委員会第 1・第 2 分科会
(各部所管審査)

- 30 日(月) 予算特別委員会第 1・第 2 分科会
(各部所管審査)

▶ 10 月

- 1 日(火) 予算特別委員会第 1・第 2 分科会
(各部所管審査)
- 2 日(水) 予算特別委員会 (各分科委員長報告、
総括質疑、意見調整、付託議案可
決)
- 3 日(木) 各常任委員会
各特別委員会
決算特別委員会 (決算概要聴取等)
決算特別委員会第 1・第 2 分科会
(審査日程等決定)
- 4 日(金) 議会運営委員会
本会議 (各委員長報告、議案等可決、
人事案件の追加提案説明・同意議決、
決議案 1 件可決、意見案 6 件可決、
議員派遣の決定、報告第 1 号ないし
第 4 号の閉会中継続審査の決定、関
係委員会の閉会申請願継続審査及び
事務継続調査の決定)
[第 3 回定例会閉会]

令和元年度北海道補正予算の概要

第3回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和元年度北海道一般会計補正予算（第2号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	3,552,507	総務費	100
財産収入	763,052	総合政策費	1,119,626
繰入金	19,419	保健福祉費	3,750
諸収入	253,355	経済費	1,721
道債	3,770,000	農政費	3,259,908
繰越金	1,656,413	水産林務費	332,150
		建設費	4,657,000
		教育費	61,000
		災害復旧費	30,000
		諸支出金	549,491
計	10,014,746	計	10,014,746

○令和元年度北海道特別会計補正予算

（単位 千円）

会 計 名	金 額
国民健康保険事業特別会計	155,172
石狩湾新港地域開発出資特別会計	180,683
計	335,855

令和元年第3回定例会で可決した補正予算は、総額約103億5000万円。

一般会計に係る歳出予算の主なものは、新千歳空港の日中発着枠の拡大に伴う空港運營業務等について、民間事業者による円滑な推進に資するよう、緊急的な対策を実施することとして新千歳空港機能強化緊急対策事業費1000万円、産地の競争力強化を図るため、農業協同組合等が行う施設整備等に対して支援することとし、産地パワーアップ事業費21億1300万円、本道経済の現状等に鑑み、道の単独施策を講じることとし、道路、河川などの特別対策事業費38億円、公共関連単独事業費11億円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、国庫支出金35億5200万円、道債37億7000万円、繰越金16億5600万円。

第 3 回 定 例 会

▶総額103億5000万円余の令和元年度補正予算を可決◀

概 要

- ① 令和元年度補正予算案等を審議する**第3回定例会**は、**9月10日に招集**され、会議録署名議員の指定等を行い、**会期を10月4日までの25日間**と決定。
次に、**総額103億5000万円余の令和元年度補正予算案及びこれに関連する議案等42件**が上程され、知事から提出議案に関する説明。
次に、議案等調査のため、9月11日から9月12日までの本会議を休会することを決定して散会。
- ② 休会明けの9月13日から**代表質問**に入り、9月17日に終結。議案等調査のため、9月18日の本会議を休会することに決定して散会。
- ③ 休会明けの9月19日、「**北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案**」が提案され、知事から提出議案に関する説明の後、**一般質問**に入り、9月25日に一般質問を終結。直ちに**予算及び決算特別委員会を設置**し、議案第8号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第14号及び第21号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会にそれぞれ付託することを決定し、残余の議案を各委員会に付託。
その後、各委員会付託議案等審査のため、9月26日から9月27日まで及び9月30日から10月3日までの本会議を休会することを決定して散会。
- ④ **予算特別委員会**は、9月25日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。
9月27日から各分科会において各部所管の審査に入り、10月1日にこれを終了。10月2日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも原案可決と決定。
- ⑤ 会期最終日の10月4日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。
次に、「**北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件**」等の人事案件2件が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**同意議決**。
次に、**決議案第1号「日米貿易協定に関する決議」**について、説明及び委員会付託を省略し、異議なく**原案可決**。
次に、**意見案第1号「国会における憲法論議についての意見書」**が提案され、説明の後、質疑を行い、委員会付託を省略し、討論の後、採決の結果、**原案可決**。
次に、**意見案第2号「診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書」**等5件について提案され、説明を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。
次に、議員派遣の件について決定。
次に、報告第1号ないし第4号について、閉会中の継続審査に付することに異議なく決定。
最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。
- ⑥ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提案者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	棄却すべき旨答申	継続審査	
知 事	45	25	2			4	14
議員・委員会	7	7					
計	52	32	2			4	14

本 会 議

○9月10日（火） 午前10時5分開会、村田憲俊議長、令和元年第3回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告及び議員派遣の報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月4日までの25日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

議案等調査のため、9月11日から9月12日までの本会議を休会することに決定し、午前10時16分散会。

○9月13日（金） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**代表質問**に入り、



吉川 隆雅議員（自民）から、

- 1 道政上の諸課題について
 - ・これまでの地域訪問、事業レビュー等を今後の政策展開につなげていくことに係る所見
 - ・現在の人口の社会減に係る認識及び対策の強化に係る所見

- ・SDGsをめぐる状況変化を踏まえた実効性の高い次期北海道創生総合戦略策定に係る所見
- ・このたびの日米貿易交渉に係る受けとめ及び今後の対処に係る所見
- ・ほっかいどう応援団会議の発足に係る次年度に向けた民間ノウハウを活用した事業構築の考え
- ・民族共生象徴空間における年間来場者100万人の目標達成に向けた取り組みの加速に係る所見
- ・法定外目的税の導入に向けた市町村との具体的な調整に係る所見
- ・法定外目的税導入の判断時期に係る所見
- ・IRに関する道民意向の把握と今後の検討への生かし方に係る所見
- ・昨今のIR誘致に向けた他地域の動きの加速化に係る受けとめと誘致判断の時期に係る見解

- ・国際的な環境変化の影響等による最近のインバウンド需要減に係る受けとめと今後の対処に係る所見
 - ・道内7空港一括民間委託による効果を最大限発揮するための今後の取り組み
 - ・北海道航空ネットワークビジョン策定後の状況変化への対処に係る見解
 - ・本道将来に望ましい物流体系の構築に係る所見
 - ・さまざまな環境変化を踏まえた新たな時代にふさわしい人づくりの推進に係る所見
 - ・中小企業への支援に係る見解
 - ・深地層研究計画の延長に係る認識及び道の対応方針の決定時期に係る所見
 - ・知事公邸廃止後における必要な機能の確保及び周辺エリア全体のあり方に係る見解
 - ・今後の道営住宅の整備に係る所見
 - ・性暴力被害者支援の充実に向けた病院拠点型の導入検討に係る見解
 - ・本道における子どもの貧困に係る現状認識
 - ・貧困解消に向けた取り組みとして次期子どもの貧困対策推進計画に盛り込む対策
 - ・医師不足解消に向けた地域枠制度の維持及び制度を有効に機能させる方策に係る所見
 - ・聴覚障がい者情報センター機能の充実に係る所見
 - ・本道農業の振興に向けたスマート農業の導入及び基盤整備もあわせた取り組みに係る所見
 - ・人と野生鳥獣とのあつれきに係る認識及び人的被害等が危惧される場合の対応
 - ・野生鳥獣による農林水産業被害等の防止に向けた取り組みに係る所見
 - ・市町村に譲与される森林環境譲与税の額及び市町村の取り組みへの支援に係る所見
- 2 教育問題について
 - ・学校指導要領改訂を踏まえた指導の充実に係る所見
 - ・高校教育の機会均等の実現に向けた遠隔授業の推進に係る今後の取り組み
 - ・高等学校における国際交流の拡大に向けた取り組みに係る所見
 - ・高等学校の一層の魅力向上を図る取り組みに係る見解
 - ・質の高い教員の確保に向けた取り組みに係る所見

3 公安問題について

- ・高齢者の運転免許証返納の促進に係る環境整備
- ・タンDEM自転車の公道走行解禁に係る所見

等について質問があり、知事、土屋副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時58分休憩。午後1時再開し、



市橋 修治議員（民主）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・国との関係、向き合い方に係る所見
- ・高橋道政からの事業の再評価に係る所見

- ・ほっかいどう応援団会議などの重点政策を中心とした事業の再評価に係る所見
- ・北海道創生総合戦略の検証結果に係る所見
- ・次期創生総合戦略の策定における目標値見直しに係る所見
- ・次期地方版創生総合戦略の策定における市町村支援に係る所見
- ・ほっかいどう応援団会議の取り組みと市町村との連携に係る所見
- ・ほっかいどう応援団会議の事業効果及び効果測定に係る所見

2 行財政運営について

- ・財政運営に係る基本的認識と財政が好転しているかどうかに係る所見
- ・財政調整基金に係る今後の方針についての所見
- ・減債、財調の両基金の積み立て及び繰りかえ運用の解消に係る具体的な見解
- ・財政健全化に向けた取り組みに係る所見
- ・執行保留に係る認識と所見

3 医療・福祉政策について

- ・道内3医育大学の地域枠制度に係る所見
- ・新たな医師確保計画策定に向けた進捗状況及び女性医師の就業環境の整備に係る所見
- ・幼児教育・保育の無償化に際し、無償化とならない状況等への対処に係る所見
- ・地域医療構想の実現に向けたこれまでの取り組み及び今後の見通しに係る所見
- ・ギャンブル等依存症における潜在的依存症患者の把握及びその結果を対策や予防につなげていくことに係る見解

- ・児童相談所と児童養護施設の連携体制構築に係る所見及び児童養護施設の小規模化による課題の認識と今後の取り組みに係る所見
- ・第4期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の策定に係る所見

4 経済・雇用対策について

- ・最低賃金の地域間格差及び働き手の道外流出に係る所見
- ・中小零細企業の事業継承支援に係る所見
- ・軽減税率の導入への対応に必要な環境整備に対する道の対応に係る所見
- ・消費税増税に伴う影響の緩和に向けた道の取り組みに係る所見

5 幌延深地層研究計画について

- ・3者協定における確認会議の位置づけ及び権限等に係る見解並びに協定締結時の経過を踏まえた対応に係る所見

6 地域の安心・安全確保について

- ・胆振東部地震における被災者の生活再建に向けた取り組みに係る所見
- ・地域防災に係る人材育成に向けた取り組み
- ・道管理河川、道路に係る現状認識及び必要予算の確保に係る所見

7 交通政策について

- ・沿線自治体によるJ R北海道に対する支援に係る所見と今後の対応
- ・方向性が合意されていない線区における議論の進め方に係る所見
- ・J R根室線の富良野一新得間について地域での議論の進め方に係る所見
- ・新千歳空港の発着枠拡大に伴う課題の解決に向けた取り組みに係る所見
- ・道内7空港運営の一括民間委託における契約の内容及び提案内容の反映に対する見解並びに今後の具体化に向けた方向性

- ・道民の足である生活路線バスの維持確保及び多様な交通手段の組み合わせによる移動手段の確保に向けた総合的な交通ネットワークの形成に係る所見

8 第1次産業振興について

- ・日米貿易交渉に関する十分な説明及び的確な対策に係る所見
- ・食料自給率に対する認識及び今後の対策に係る所見
- ・海外悪性伝染病に対する防疫体制及び危機管

理体制の強化に係る所見

- ・鳥獣被害防止に向けた実効性のある緊急対策の実施に係る所見
- ・道産食品の輸出に係る現状認識及び日韓関係を考慮した2019年下期に向けた考え方と具体的な取り組み
- ・国有林野管理経営法の一部改正を踏まえた今後の取り組み及び道有林の管理のあり方に係る所見
- ・道産木材の新たな利用拡大に向けた具体的な取り組みに係る所見
- ・密漁対策の強化に係る所見

9 観光施策について

- ・I Rに関するマスコミ等による世論調査の結果に係る所見
- ・I R誘致の判断に係る時期、基準等の具体化及び国の意向調査への回答に係る所見
- ・韓国以外の観光需要喚起に向けた安定的な誘客戦略に係る所見及び本道と韓国の信頼関係の改善に向けた取り組みに係る所見
- ・法定外目的税の導入に向けた市町村との連携等、今後の進め方やスケジュール感に係る所見

10 北方領土問題について

- ・ロシアのメドベージェフ首相による北方四島に係る言動に対する所感及び日ロ首脳会談における進展状況に対する所見

11 人権政策について

- ・今後の取り組みに係る所見

12 アイヌ政策について

- ・民族共生象徴空間における年間来場者数100万人の目標達成に向けた今後の取り組みに係る所見

13 ヒグマ対策について

- ・観光客への啓発に向けた取り組み及びヒグマとのすみ分けと共存に向けたヒグマ管理計画における保護管理ポイントを具体化した取り組み

14 日豪共同訓練について

- ・道民の安全、安心の確保に必要な情報公開に係る所見

15 教育課題について

- ・高等教育の無償化に係る道としての支援策に対する見解及び今後の見通し
- ・高校の統廃合による通学代等の補助制度の継

続及び統廃合に対する所見

- ・学校現場の教職員に係る性的マイノリティーへの対応
 - ・遠隔授業の将来構想に係る所見
- #### 16 選挙演説中の道警の対応について
- ・言論の自由の保障に対する認識及び道警の対応に係る所感
 - ・街頭演説における警備体制等、通達と違う状況が生じたことに係る所見

等について質問があり、知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後2時50分休憩。午後3時21分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時10分散会。

○9月17日（火） 午後1時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**代表質問**を継続。

佐藤 伸弥議員（結志）から、

1 知事の基本姿勢について

- ・北海道総合計画及び次期北海道創生総合戦略におけるSociety5.0及びSDGsの位置づけ及び施策の推進に係



る所見

- ・人口減少対策に係る具体的な成果指標の設定及び具体的な民間の力の活用方法に係る所見
- ・札幌一極集中の現状と将来に係る認識及び次期北海道創生総合戦略への札幌一極集中の抑制の打ち出しに係る見解
- ・胆振東部地震の被災者一人一人に寄り添った復旧、復興に係る所見
- ・令和2年度予算における財源の捻出及び事業レビューの所期の目的達成に係る所見

2 道政の諸課題について

- ・持続的な鉄道網の確立に向けた道自らの具体的、積極的な提案に係る所見
- ・必要な路線及び結論の見出し方に係る所見
- ・これまでの経済政策の総括及び前知事の政策実現に対する認識に係る見解並びに新たな基本方針と前知事の基本方針との相違
- ・中小企業の事業承継に係る道内における地域間格差の実態把握及び地域の実情に合わせた対策に係る所見

- ・道内における就職氷河期世代の就労状況把握と支援策に係る所見
 - ・食関連企業経営意識調査の結果に基づく具体的施策の展開及び今後の人材育成支援に係る見解
 - ・幌延深地層研究計画における3者協定に基づく確認会議の結論を得る時期及び検討組織の立ち上げに係る見解
 - ・研究課題及び期間を明確にするよう日本原子力研究開発機構に申し入れることに係る所見
 - ・外国人来道者の地域偏在への認識及び地域分散への取り組み並びに韓国以外の観光需要喚起に向けた緊急誘致対策により見込まれる効果に係る見解
 - ・I R誘致の判断時期に係る見解
 - ・観光振興に係る新たな財源確保における関係市町村との協議状況及び導入の再考に係る見解
 - ・2018年度に本格実施された市町村国保の保険者努力支援制度活用に向けた市町村支援の充実に係る所見
 - ・サ高住の地域偏在に係る認識及び対処並びに適切な管理指導に向けた具体的取り組み
 - ・国の動向を踏まえた今後の子どもの貧困対策の推進に向けた施策の方向性及び最終年度を迎える貧困対策推進計画の取り扱いに係る所見
 - ・国のプラスチック資源循環戦略に基づく道としての新たな取り組みに係る所見
 - ・市町村におけるアイヌ文化の保存継承、観光振興に係る地域計画の策定状況の把握及び助言、協力など市町村の支援並びに北海道アイヌ生活実態調査の見直しに係る見解
 - ・北海道人権施策推進基本方針の点検方針及び結果の具体的な施策への反映に係る見解
 - ・日米貿易交渉に関する国の説明責任に係る認識及び道としての対処に係る所見
 - ・スマート農業推進に向けた地域情報基盤整備の取り組みに係る所見
 - ・漁船漁家の漁労所得向上に向けた取り組み
- 3 教育行政について
- ・学力向上の改善が見られない原因の分析及び学力向上に向けた新たな取り組みに係る所見
 - ・リカレント教育の意義及び対処に係る所見

等について質問があり、知事、土屋副知事、中野副知事及び教

育長から答弁。同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時59分休憩。午後3時21分再開し、



志賀谷 隆議員（公明）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・本道地域が抱える課題認識及び新しい創生総合戦略策定の視点並びに今後の地域再生に係る具体的な取り組みに係る

所見

- ・地域振興条例の見直しに係る所見
 - ・国土形成計画における東北と北海道の連携強化プロジェクトに係る所見及び現行の長期総合計画との整合性
 - ・新たな青函交流圏構想の策定に係る所見
 - ・国土強靱化に関するさらなる対策の充実の国への要請及び市町村における地域計画の策定状況に係る所見
 - ・J R 北海道の経営状況の受けとめ及び今後の支援に係る所見
 - ・北海道新幹線の札幌開業に係る課題の解消に向けた取り組み
- 2 航空政策について
- ・道内7空港の運営一括民間委託に関し、優先交渉権者の提案内容の受けとめ及び今後の本道経済への活性化に向けての所見
 - ・地方空港の活性化に向けた戦略的な取り組みに係る所見
 - ・来道者に道内を周遊してもらうための2次交通事業者との連携に係る認識と今後の取り組み
 - ・民間委託による効果を地方航空へ波及させていく方策の検討に係る所見
- 3 本道経済の活性化について
- ・本道の優位性を生かしたこれまでの企業誘致の手法の見直しに係る所見
 - ・国内外からの投資の呼び込みに係る所見
 - ・観光振興に係る戦略及び具体的な取り組み並びに地域振興につなげていくことに係る所見
 - ・北前船寄港地フォーラムの開催及び日本海地域の振興に向けた取り組み
- 4 民族共生象徴空間について
- ・開業に係る課題への取り組み及び次年度以降の道の支援に係る所見
- 5 縄文世界遺産登録について

- ・北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録後を見据えた活用及び縄文文化の調査研究、普及等に係る所見
 - 6 保健福祉問題について
 - ・認知症施策推進大綱に係る受けとめと今後の取り組み及び道内における認知症に係る医療相談体制の現状と課題に対する所見と今後の取り組み
 - ・児童虐待への対応に係る所見
 - ・子どもの貧困対策に係る所見
 - ・障がいを抱える患者や保護者に対する支援及び負担の軽減に向けた取り組み
 - 7 北海道立総合研究機構について
 - ・第3期中期目標策定に当たっての道総研に対する今後の政策展開において期待する役割に係る見解
 - 8 沿岸漁場の整備について
 - ・漁業生産の回復に向けた沿岸漁場の整備に係る所見
 - 9 災害対策について
 - ・胆振東部地震の検証を踏まえた今後の防災対策に向けた提言に対するこれまでの対応状況並びに今後の見通し
 - ・胆振東部地震の被災者が入居する仮設住宅の入居期間延長を含めた住宅再建に向けた対応策の検討に係る所見
 - ・胆振東部地震の被災地における農地復旧への取り組み及び今後の営農再開に向けた見通し
 - ・河川防災の取り組みに係る所見
 - 10 国際化に向けた取り組みについて
 - ・これまでの取り組みに係る所見及び今後の展望並びに道内における国際協力機関の取り組み、連携等に係る所見
 - 11 知事公館周辺の土地活用について
 - ・土地活用の総合的な検討に係る所見
 - 12 教育問題について
 - ・高等学校の中途退学の未然防止に向けた取り組みに係る所見
 - ・教員の確保に係る所見
 - 13 公安問題について
 - ・高齢運転者の運転免許証返納に係る道民からの要望への対応についての所見
- 等について質問があり、知事、浦本副知事、中野副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時24分散会。

○9月19日（木） 午前10時3分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第25号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

日程第1の議案第25号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**に入り、



丸岩 浩二議員（自民）から、

- 1 ヒグマ管理計画について
 - ・狩猟期間の延長への対応
 - ・計画の見直しに向けた新たな管理の考え方及び手法の検討に係る所見

2 職場環境改善による働き方改革について

- ・本庁舎の職場環境に係る現状認識
- ・本庁舎のリニューアル及びユニバーサルレイアウトなどの職場環境の改善に係る見解
- ・道有建築物における長寿命化診断の実施件数及び長寿命化に適さないと判断された施設
- ・老朽建築物の改築に係る見解

3 児童虐待防止に向けた取り組みについて

- ・一時保護のあり方及び子どもの安全確保策の見直しに係る見解
- ・児童相談所の体制の見直しに係る見解
- ・児童相談所の体制強化及び勤務体系の転換に係る見解

4 観光施策について

- ・今後のIRに関するスケジュール及び誘致の判断時期に係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、保健福祉部少子高齢化対策監及び建設部建築企画監から答弁。



武田 浩光議員（民主）から、

- 1 札幌医科大学の運営について
 - ・業務実績に関する評価結果に係る認識
 - ・第3期中期目標達成に向けた基礎研究に対する道としての

支援

2 ヒグマの生活圏侵入について

- ・ヒグマ対策に係る人員と予算の確保及び市町村、振興局をまたいだ場合の対応に係る所見

3 幌延深地層研究計画について

- ・令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）

の申し入れに係る所見

- 4 泊発電所について
 - ・泊発電所3号機の事故に係る再発防止策の策定を延期する北電への対応
 - ・原発の必要性に係る所見
- 5 地域防災計画について
 - ・北海道地域防災計画の見直し及び災害拠点病院以外の病院におけるBCPの必要性に係る見解
 - ・原子力災害対策に係る所見
- 6 超高齢社会について
 - ・現役世代支援の必要性及び高齢世帯の孤立化を防ぐための居住支援等に係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、環境生活部長、保健福祉部少子高齢化対策監及び経済部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時21分休憩。午後1時再開し、



星 克明議員（自民） から、

- 1 地域医療について
 - ・平等に医療を提供する方策に係る所見
- 2 農業行政について
 - ・本道における家畜の伝染病対策に係る見解
- 3 IT人材育成について
 - ・IT技術者の現状に係る認識及び人材育成の取り組みに係る所見
- 4 行政改革等について
 - ・国の動向を踏まえた電子による行政文書の取り扱いに係る見解
 - ・経済社会情勢の変化を踏まえた旅費制度の見直しに係る所見
- 5 高等支援学校について
 - ・生徒の学習環境に係る見解
- 6 アウトドア体験の推進について
 - ・アウトドア事業の積極的な推進に係る認識

等について質問があり、知事、経済部長、農政部長及び教育長から答弁。同議員から発言。



松本 将門議員（民主） から、

- 1 赤レンガ庁舎のリニューアルについて
 - ・基本指針に示された改修期間中の取り組み例3件の他の検討内容及び観光客等への事前

周知に係る所見

- ・北海道博物館のサテライト施設としての今後の役割に係る所見
- 2 自転車条例に基づく対応について
 - ・自転車の活用及び安全な利用の推進に向けた施策の展開に係る現状認識
 - ・自転車ネットワーク計画の策定が進められている自治体における自転車通行環境の整備に係る所見
 - 3 旭川家具の振興について
 - ・情報発信に係る今後の具体的対応
 - 4 農政課題について
 - ・多様な形態に即した北海道農業の担い手対策に係る所見
 - ・農業における雇用労働者の労働条件及び労働環境の整備改善に係る所見
 - ・農業生産基盤整備の推進に係る予算確保に向けた今後の取り組み
 - ・国の挑戦的農林水産研究開発事業に対する認識及び今後のかかわり方などに係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、経済部長、農政部長及び建設部長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後2時11分休憩、午後2時40分再開し、



道見 泰憲議員（自民） から、

- 1 人口減少がもたらす危機について
 - ・北海道の人口減少に係る現状認識
 - ・道が策定してきた諸計画に係

る影響

- ・未来にわたって勝ち残ることのできる北海道を作り上げていく覚悟及びこれからの道民の姿に係る見解
- ・札幌市と協力した人口減少対策に係る見解
- ・将来税収の危機を見据えた諸政策の見直しに係る見解
- ・人口を初めとする諸数値の設定に係る見解
- ・域際収支の改善及び危機に立ち向かうために

必要な政策とその見直しに係る見解

- 2 家畜排せつ物の利用促進について
 - ・飼育頭数の増加に伴う排せつ物発生量の将来見込み
 - ・家畜種別排せつ物の処理状況と課題
 - ・堆肥センター設置理由及び現状と課題
 - ・北海道家畜排せつ物利用促進計画のエネルギー利用に係る見直し及び検討に向けた所見
 - ・排せつ物の有効利用に係る見解
- 3 アイヌ総合政策の推進について
 - ・紋別アイヌ協会による密漁行為に係るこれまでの経緯及び道警の対応に係る見解
 - ・事件への受けとめ及び対応に係る所見並びに再発防止に向けた取り組み

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、農政部長及び警察本部長から答弁。



赤根 広介議員（結志） から、

- 1 道政上の諸課題について
 - ・市町村における非常用電源の整備状況の把握及び整備に向けた今後の取り組み
 - ・手話の普及に向けた推進計画の策定に係る所見
 - ・「手話の日」の制定に係る見解
 - ・北海道聴覚障がい者情報センターにおける拡張後の面積及び遠隔手話サービスの実施を検討している市町村数
 - ・記者会見のリアルタイムでの発信及び手話通訳の導入に係る見解
 - ・応援団会議を活用して解決を目指す行政課題及び政策検討、事業構築に係る所見
 - ・アウトバウンド拡大の必要性に係る認識及び拡大に向けた取り組み
 - ・海外教育旅行振興の意義及び課題に係る認識並びに取り組みに係る所見
 - ・eスポーツを通じた本道経済の発展に係る見解
 - ・学校現場へのeスポーツの導入及び効果、影響等の把握の必要性に係る所見
 - ・J R 北海道の経営問題における地域負担の方向性表明の必要性に係る認識
 - ・J R 北海道の路線維持に向けた地域の取り組みに対するさらなる協力支援に係る認識
 - ・M a a S の実証実験に係る取り組み状況及び十勝における今後のシームレス交通戦略に基

づく取り組み

- ・I R 誘致の判断時期に係る見解

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、総合政策部長兼交通企画監、保健福祉部長、経済部長及び教育長から答弁。同議員から再質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後4時7分休憩。午後4時13分再開し、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時16分散会。

○9月20日（金） 午前10時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**を継続。



宮下 准一議員（自民） から、

- 1 国土強靱化計画について
 - ・市町村の地域計画策定に対するより積極的な支援に係る見解
- 2 クリーン農業の推進について
 - ・一層の推進に向けた今後の取り組み
- 3 多文化共生の推進について
 - ・本道の広域性に対応し得るワンストップセンターの設置に向けた国への働きかけなど、多文化共生推進の取り組みに係る見解
- 4 観光振興について
 - ・G20観光大臣会合開催に係る受けとめ及び本道の活性化、国際化に結びつけていくことに係る見解
- 5 白老町のインフォメーションセンター機能の充実について
 - ・ソフト面の充実に向けた道としての支援に係る所見
- 6 交通政策について
 - ・新千歳空港と札幌駅間における輸送力の強化及び利便性の向上に向けた取り組みに係る見解

等について質問があり、知事及び総合政策部長兼交通企画監から答弁。同議員から発言。



安藤 邦夫議員（公明） から、

- 1 医師確保計画及び外来医療計画について
 - ・計画策定を踏まえた地域医療の確保に向けた取り組みに係る所見
- 2 循環器病対策基本法について

- ・法律制定に対する受けとめ
 - ・循環器病対策推進協議会の構成員に係る所見
 - ・循環器病対策推進計画策定に係る所見
- 3 自動車の自動運転の実用化について
- ・道内におけるこれまでの自動運転に関する実証試験数及び道の支援内容並びに今後の自動運転の実用化に向けた取り組みに係る所見
- 4 海洋プラスチックごみ対策について
- ・今後の取り組みに係る所見
- 5 エゾシカの有効活用について
- ・エゾシカ有効活用に係る現状認識
 - ・今後の有効活用に向けた取り組みに係る所見
- 6 私立高校生への修学支援について
- ・保護者負担の軽減に向けたこれまでの取り組みと効果に係る認識
 - ・国の制度改正を踏まえた今後の私立高校における修学支援に係る取り組み

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、保健福祉部長及び経済部長から答弁。議事進行の都合により午前11時13分休憩。午後1時再開し、



榎垣 尚子議員（自民） から、

- 2030年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致について
 - ・道としての今後の対応
- スペシャルオリンピックスに

ついて

- ・大会の周知及び道民機運の醸成等に係る所見
- 3 循環型社会形成の推進について
- ・次期基本計画策定の観点及び循環型社会の形成推進に向けた取り組み
 - ・プラスチックごみ削減の取り組みに係る所見
- 4 外来医療について
- ・地域医療充実に向けた外来医療計画の策定及び取り組みに係る所見
- 5 住宅宿泊事業について
- ・民泊事業に係る住民等からの苦情件数等及びその後の対応並びに近隣住民への事前説明等に関する指導の強化に係る見解
 - ・犯罪の未然防止に向けた対策に係る認識
- 6 人手不足対策について
- ・引きこもりの方や生活困窮者などの現状及び就労支援の実態の把握と認識
 - ・個別制度の適用要件に該当しない方々への就労支援に係る見解

- ・外国人材の地域偏在防止に向けた対応に係る見解
- ・外国人材の受け入れ拡大に伴い増加する外国人児童等に対する日本語学習支援に係る見解

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、経済部観光振興監及び教育長から答弁。



壬生 勝則議員（民主） から、

- 知事公邸区域における今後のあり方について
 - ・道民意見を取り入れた検討に係る所見
- 道内7空港の一括民間委託に

ついて

- ・他の道内空港との均衡ある発展を目指した今後の取り組みに係る所見
- 3 「あおり運転」に対する対策について
- ・市町村によるドライブレコーダー購入助成の制度導入を促すことに係る所見
- 4 北海道の物流輸送体系に即したトレーラーに係る自動車税について
- ・トータルで税負担をしつつバランスのとれた税体系としていくなどトレーラーに対する課税のあり方に係る所見
- 5 自然災害発生に対する防災について
- ・市町村と連携した地域の防災リーダーの育成に係る所見
- 6 大学入学共通テストに導入される英語民間検定試験について
- ・受検に係る経済格差問題への対応及び英語検定における混乱状態の受けとめと対応に係る所見
- 7 これからの高校づくりについて
- ・新たな高校づくりにおける取り組みの進捗状況

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、環境生活部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後2時16分休憩。午後2時41分再開し、



桐木 茂雄議員（自民） から、

- 中小企業強靱化における道としての取り組みについて
 - ・中小企業の持続的な発展に向けた商工会等の機能強化に係る認識及び対応に係る所見

- ・事業承継の促進に向けた新たな取り組みに係る所見
 - ・小規模企業等に対する支援対策に係る所見
- 2 北海道でのサテライトオフィス化について
 - ・サテライトオフィスの誘致に向けた企業に対するこれまでの取り組みと効果及び観光産業、市町村との連携に係る所見
 - ・サテライトオフィスの誘致に向けた今後の取り組み
 - 3 国際観光旅客税（出国税）の施策について
 - ・現行制度に係る所見
 - ・国と連携した観光施策の推進に係る所見
 - 4 ヒグマ被害対策について
 - ・ヒグマの捕獲に係る道の支援及び役割についての所見

等について質問があり、知事、経済部長及び経済部観光振興監から答弁。



中川 浩利議員（民主） から、

1 風水害への対策について

- ・住民に適切な避難行動を促すためのこれまでの取り組み及び取り組みの効果に係る見解
- ・マイ・タイムラインの作成を

通じた道民の早期避難行動を促す仕組みづくりの推進及びマイ・タイムラインの評価に係る見解

- 2 若者が道内で就業するための環境整備等について
 - ・大学卒業生の道外流出に係る認識及び今後の対策
 - ・北海道で働く魅力の発信に係る見解
 - ・企業に対する賃金等の待遇改善の呼びかけに係る見解
 - ・本道の産業構造に係る見解
- 3 洋上風力発電について
 - ・事業者による洋上風力発電の検討状況及び国の促進区域指定に向けての姿勢
 - ・洋上風力発電設備の整備における支障等に係る見解
- 4 農政課題について
 - ・日米貿易交渉における協議、合意内容の情報開示のあり方及び国に対する情報開示の再要請に係る見解
 - ・TPPワイドのセーフガードに係る見解
 - ・新たな国際環境下における本道への影響評価

の実施に係る見解

- ・米価下落の対応等に係る所見
 - ・国の米政策及び道の支援策に係る所感
- 5 公海におけるサンマ漁業について
 - ・漁業者の経営支援、代替策等に係る所見
 - ・公海におけるサンマ漁獲の意識的、戦略的な実施に係る所見
 - 6 道路インフラの維持管理について
 - ・早期措置段階とされた道管理施設に係る今後の対応及び市町村管理施設への対応に係る見解
 - 7 学校管理下における児童生徒の事故予防について
 - ・本道における負傷、疾病の発生件数の推移に係る見解及び重大事故等の未然防止への取り組み
 - ・重大事故発生時におけるリスクマネジメント体制の整備に係る見解

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部長、農政部長、水産林務部長、建設部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後4時8分散会。

○9月24日（火） 午後1時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**を継続。



滝口 直人議員（自民） から、

1 ふるさと納税について

- ・ほっかいどう応援団会議を活用した個人のふるさと納税の募集に係る所見

2 地域づくり総合交付金について

- ・今後の取り組みに係る所見
- 3 総合的な子育て支援について
 - ・次年度以降の支援に係る所見
 - 4 国民健康保険に係る予防対策の推進について
 - ・市町村が行う特定健康診査の推進に係る所見
 - 5 洋上風力発電施設に係る固定資産税について
 - ・固定資産税の扱い等に係る問題に対する認識及び道の役割に係る所見
 - 6 漁業生産の安定対策について
 - ・ヒラメの資源増大に向けた取り組みに係る所見
 - ・水産加工業等の関連産業及び漁村地域の振興

に向けた取り組み

- 7 道産木材の需要拡大について
 - ・都市部における道産木材利用の取り組みに係る課題認識及び今後の取り組み
 - ・道産木材の新たな販路開拓に係る所見
- 8 教員採用前ガイダンスについて
 - ・集合形式会場の拡大に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、保健福祉部長、水産林務部長及び教育長から答弁。



広田 まゆみ議員（民主） から、

- 1 北方四島隣接地域の振興のあり方について
 - ・北方四島隣接地域の自然環境に係る科学的な調査及び歴史、文化の交流の推進についての見解と今後の対応
 - ・隣接地域の振興に係る所見
- 2 SDGs 推進のあり方とフェアトレードタウン認証について
 - ・SDGs 未来都市としての発信に係る所見及び今年度において新たな申請がなかったことについての受けとめ並びに持続可能な発展を実現するための到達目標に係る見解
 - ・フェアトレードタウンの認証の意義及びフェアトレード運動の推進に向けた道の役割に係る所見
- 3 幼児教育・保育の「社会」化と森のようちえんなど自然保育の推進について
 - ・幼児教育・保育を社会的責任として保障することの必要性の明確化及び北海道の強みを生かす子どもの育ちを議論する場の設置に係る見解
 - ・森のようちえん、自然保育等の推進に係る見解
- 4 こども参画の推進について
 - ・道政政策形成過程における子ども参画推進の必要性及びこれまでの取り組み並びに今後の展開に係る見解
- 5 百年記念施設エリアの再生構想についての知事の認識と指定管理者制度のあり方について
 - ・百年記念施設エリアが持つ意義に対する認識及び再生に向けた取り組み
 - ・歴史的建造物の維持保全及び活用に係る認識
 - ・指定管理者制度の見直しに係る課題及び道の文化施設の持続可能な運営に係る所見

6 観光振興政策について

- ・観光振興の目的を踏まえた民泊推進の意義及び今後の課題、取り組みの方向性に係る所見
 - ・アウトドア人材の育成等の取り組みに係る見解
- 7 保健福祉医療のイノベーションについて
 - ・北海道の保健、医療、福祉の現状に係る認識と対処に係る所見
 - ・公衆衛生の意義と課題に係る認識及び道の役割に係る所見
 - ・当事者運動を育て、新しい持続可能な保健医療福祉のモデルを確立していくことへの所見
 - 8 産業用ヘンプ活用の推進について
 - ・産業用大麻可能性検討会の報告書に係る受けとめ及び今後の対応に係る所見
 - 9 アイヌ政策について
 - ・アイヌ文化の表現及び伝承のあり方に係る見解

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長兼交通企画監、環境生活部アイヌ政策監、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部観光振興監及び建設部建築企画監から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後2時42分休憩。午後3時10分再開し、



久保秋 雄太議員（自民） から、

- 1 本道酪農の振興について
 - ・人材育成確保を含む生産現場における具体的な労働力確保対策に係る所見
 - ・農業者及び新規就農希望者への支援に係る所見
- 2 林業・林産業の振興について
 - ・北の森づくり専門学院における学生の確保に向けたこれまでの取り組み及び今後の取り組みに係る所見
 - ・卒業後のフォローアップに向けた取り組みに係る所見
 - ・全国育樹祭の本道開催の機運醸成に向けた取り組みに係る所見
- 3 看護職員確保対策について
 - ・北海道における看護職員の需給推計の進捗状況及び全国ベースにおける集計結果の公表時期等並びに今後の看護職員確保対策
 - ・道立高等看護学院のあり方検討に係る現状課題及び検討作業に係る見解

- 4 道路施設の老朽化対策について
 - ・道路施設の老朽化に係る現状認識及び今後の対策に係る見解
 - ・照明、標識などの小規模施設及び舗装の老朽化対策に係る見解
- 5 携帯電話不感地帯解消について
 - ・携帯電話不感地域の解消等に係るこれまでの取り組み及び今後の取り組みに係る見解
- 6 捕鯨対策について
 - ・今後の商業捕鯨に係る見解
- 7 トドによる漁業被害対策について
 - ・駆除枠の確実な消化に向けた今後の取り組みに係る所見

等について質問があり、知事、保健福祉部長、農政部長、水産林務部長及び建設部長から答弁。



大河 昭彦議員（結志） から、

- 1 地方創生の意義について
 - ・地方創生の意義及び道と市町村におけるこれまでの実績の評価
- 2 地方創生に対する道の考え方

について

- ・今後の地方創生の望ましいあり方等に係る見解
- 3 ローカルアベノミクスについて
 - ・地方創生事業による国の支援に係る見解
 - 4 国の地方創生と財政支援について
 - ・国の財政措置の受けとめ及び地方財政の格差是正への寄与に係る見解
 - 5 地方創生に臨む知事の基本姿勢について
 - ・地方創生に取り組む基本姿勢及び今後の政策方針に係る所見
 - 6 人口減少問題と地方創生について
 - ・中長期的な視点に立った人口減少問題への対策に係る見解
 - 7 厚労省が進める地方創生について
 - ・多世代交流・多機能型の生活サービス支援に係る道内の実績と今後の見通し
 - 8 地方創生に対する異論について
 - ・道民の意見や希望の聴取に係る見解
 - 9 地方創生と人手不足対策について
 - ・全道的な視点から見て最も望ましい人手不足対策に係る意見
 - 10 人口減少対策を重視した道政について
 - ・今後の方針及び政策策定において配慮すべき

点

- 11 技能実習生の採用について
 - ・外国人労働者の受け入れの準備態勢づくりに係る所見
- 12 働き手確保のための条件整備について
 - ・外国人労働者に対する処遇のあり方に係る見解
- 13 若い働き手の確保について
 - ・大都市圏との最低賃金格差に係る受けとめ及び事業者と外国人労働者との関係維持に係る見解
- 14 人手に代わる技術開発の推進について
 - ・1次産業を主体とする技術分野の研究開発に係る所見及び体制づくりの強化に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、保健福祉部長及び経済部長から答弁。議事進行の都合により午後4時23分散会。

○9月25日（水） 午前10時47分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**を継続。



太田 憲之議員（自民） から、

- 1 電気通信政策の推進について
 - ・過疎地域等の条件不利地域におけるブロードバンド環境整備に向けた取り組み
- 2 山岳遭難対策について
 - ・道内における山岳遭難に係る認識と今後の取り組みに係る所見
 - ・登山客の安全確保に向けた火山対策と取り組み
 - ・バックカントリースキーによる遭難事故の防止策に係る所見
- 3 世界津波の日高校生サミットと防災教育について
 - ・サミット開催結果の受けとめ及び今後の防災教育に生かす方法に係る所見
- 4 北方墓参事業について
 - ・北方墓参のあり方の改善に係る見解
 - ・知事の北方領土訪問のあり方に係る見解
- 5 有害鳥獣の駆除について
 - ・アライグマの生息数及び分布に係る状況の認識
 - ・捕獲時期の拡大など現状の取り組みの改善に

係る所見

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部長兼交通企画監、環境生活部長及び教育長から答弁。



寺島 信寿議員（公明）から、

1 行財政改革について

- ・ 取り組みに係る所見
- ・ 地域振興条例見直しとあわせ
た組織機構改革に係る所見
- ・ 昨年度の道の関与団体に対す

る支出額及び廃止や縮小、統合などを含む抜本的な見直しに向けた取り組みに係る見解

- ・ 道の遊休資産の状況及び道有資産の売却、活用に係る所見
 - ・ 財政調整基金残高の適正な水準及び各種基金の整理に係る所見
 - ・ 道立施設等の地方移転に係る所見
 - ・ 抜本的な改革に向けた新たな第三者委員会の設置に係る所見
 - ・ 地域づくり総合交付金の予算額拡大に係る所見
- #### 2 事業承継への取り組みについて
- ・ 中小企業の後継者問題解決に向けた取り組みに係る所見
- #### 3 企業誘致等について
- ・ 今後の誘致に向けた取り組みに係る所見
 - ・ ワークション誘致など関係人口の創出に係る今後の取り組み
- #### 4 東京オリンピック・パラリンピックへの道産食材供給について
- ・ 両大会への道産食材の供給に係る現在の状況及び今後の取り組み
- #### 5 道路網の整備について
- ・ 高規格幹線道路の早期整備に向けた取り組みの加速に係る所見
- #### 6 北海道新幹線の旭川延伸について
- ・ 整備計画への昇格に係る所見
- #### 7 ヒグマ対策について
- ・ 正しい知識の普及啓発に係る所見
 - ・ ハンターの育成に係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、総合政策部長兼交通企画監、総合政策部地域振興監、環境生活部長及び経済部長から答弁。議事進行の都合により午前11時57分休憩。午後1時1分再開し、



加藤 貴弘議員（自民）から、

1 子育て支援等について

- ・ 一時保護所の環境整備に係る現状認識と今後の取り組みに係る見解
- ・ 母子健康手帳の電子化に係る

認識と今後の取り組み

2 後見人制度について

- ・ 成年後見制度の利用促進に向けた取り組みに係る見解

3 交通安全対策について

- ・ ドライブレコーダーの情報の活用に係る見解
- ・ 道民や企業が有する映像記録情報の活用に係る見解

4 交通政策について

- ・ 今回の運賃改定に係るタクシー事業者の経営への影響及び経営状況の改善に係る見解

5 中小・小規模企業の振興について

- ・ 新たな創業の促進に向けた取り組みに係る所見

- ・ 中小企業の事業再生に向けた求償権放棄に関する条例整備に係る所見

- ・ 市場法改正後における道内地方卸売市場の課題及び道の対応に係る見解

6 ダケカンバ材など道産広葉樹の有効活用について

- ・ バット材としての道産ダケカンバ材の有効活用に係る課題認識及び今後の取り組みに係る所見

- ・ 道産広葉樹の有効活用に向けた取り組みに係る所見

7 不登校対策について

- ・ 不登校に係る認識及びこれまでの取り組み並びに今後の取り組みに係る見解

8 道立高校における昼食の提供について

- ・ 道立高校生の昼食の状況
- ・ 高校生の昼食のあり方に係る今後の検討

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。同議員から発言。



須田 靖子議員（民主） から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・ほっかいどう応援団会議の立ち上げを東京で行う目的
 - ・応援団会議の取り組みにおける地域支援の把握と展開に係

る所見

- ・改正健康増進法の趣旨及び道議会の新庁舎における喫煙所の設置等の道民への周知に係る所見
 - ・新議会庁舎における来庁者への喫煙の対応に係る見解
 - ・新議会庁舎完成以降の道庁本庁舎の屋外喫煙所設置に係る見解
- 2 観光振興について
 - ・観光税導入に対する道民の理解を得る方法に係る所見
 - ・観光税の使途に係る見解
 - ・韓国人観光客の減少に係る取り組み
 - ・韓国人観光客に対する歓待行事の意義と効果
 - ・カジノの危険性の認識及びギャンブル依存症等の対策
 - 3 地域医療について
 - ・北海道地域医療構想における調整会議の設置状況と開催状況
 - ・地域医療構想の2025年に向けた進捗状況
 - ・地域の医師不足解消に向けた見解
 - ・受動喫煙防止条例に掲げる基本理念の実現に係る見解
 - 4 最低賃金について
 - ・賃金格差の解消及び中小企業への支援に係る見解
 - 5 情報通信政策について
 - ・情報基盤整備における条件不利地域についてユニバーサル制度の改正に向けた国への働きかけに係る見解
 - ・電子自治体とHARP構想の進捗状況及び今後の方向性に係る見解
 - 6 野生鳥獣の被害状況について
 - ・アライグマとヒグマの生息数に係る現状及び防除計画並びに管理計画
 - ・ヒグマ駆除の必要性の理解に係る対策

等について質問があり、知事、総務部職員監、総合政策部長兼交通企画監、総合政策部地域振興監、環境生活部長及び保健福祉部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。

議事進行の都合により午後2時27分休憩。午後2時52分再開し、



村木 中議員（自民） から、

- 1 小規模市町村のあり方について
 - ・行政サービス維持に向けた小規模市町村のあり方及び道の役割に係る見解

- 2 食産業の振興について
 - ・地域フード塾修了生の各地域における活動内容
 - ・道との連携を含めた地域におけるワイン振興に向けた取り組み状況
 - ・オリンピック、パラリンピックの開催に向けた地域の取り組みに対する道としての支援
- 3 道職員の入庁式のあり方について
 - ・入庁式の実施に係る所見
- 4 狩猟免許の推進状況について
 - ・食とのつながりも含めた新たな層のハンターの担い手確保に係る取り組み

等について質問があり、知事及び経済部食産業振興監から答弁。



梅尾 要一議員（自民） から、

- 1 新千歳空港の運用対策について
 - ・北海道エアポートグループに対する24時間運用対策への協力要請に係る見解

- ・住宅防音工事に係る見解
- 2 令和5年度全国高等学校総合体育大会について
 - ・開催に向けたスケジュール及びコンセプト
 - 3 栄養教諭の定数改善について
 - ・食に関する指導の充実に向けた栄養教諭の配置定数及び配置基準の改善並びに必要な財源の確保に係る所見
 - 4 新千歳空港の警備について
 - ・新千歳空港の警備体制の強化に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長兼交通企画監、教育長及び警察本部長から答弁。



菊地 葉子議員（共産） から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・消費税増税に係る影響の認識及び中止に係る見解
 - ・増税等の負担に係る認識及び負担軽減等に向けた国への要

請並びに道としての支援に係る所見

2 道民生活について

- ・厚真町における住宅再建に向けた財政支援に係る署名の受けとめ及び住宅の再建に向けた道独自の取り組みに係る所見
- ・被災3町の復興に向けた派遣職員増員の検討に係る所見

3 地方交通について

- ・北海道新幹線の札幌開業に伴う並行在来線に係る沿線住民との議論と合意
- ・北海道新幹線の残土の問題等に係る所見

4 経済・産業対策について

- ・報道の世論調査結果に表れた道民意向に反するIR誘致の判断に係る所見
- ・本道観光のあり方から見たカジノ誘致に係る所見
- ・ギャンブル等依存症対策推進計画策定における依存症患者数等の把握の必要性に係る所見
- ・ギャンブルに対する認識
- ・原子力規制委員会が設けた安定ヨウ素剤事前配付の年齢制限を受けた今後の対応方針に係る見解
- ・規制委員会の方針転換を踏まえた原子力防災計画の修正等に係る見解
- ・幌延深地層研究計画の延長案に係る見解
- ・これまでの深地層研究センターからの説明内容及び道民の疑問等に係る所感並びに研究の必要性、期間の妥当性等の検証

5 第1次産業対策について

- ・日米貿易協定による本道への影響に係る所見
- ・国からの貿易協定の情報提供に係る現状の受けとめと国への要請に係る見解

6 教育問題について

- ・教職員の不足と働き方改革に係るこれまでの取り組みについての所感及び抜本的改善に向けた取り組み

7 公安問題について

- ・選挙演説中のやじへの道警の対応に係る北海道弁護士会連合会及び東京弁護士会による提言内容の受けとめ
- ・強制的排除の法的根拠
- ・疑念の払拭に向けた道警察に対する指導と見解
- ・政治家としての受けとめ及び所感

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部長兼交通企画監、保健福祉部長、経済部長、農政部長、教育長、

公安委員長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事、公安委員長及び警察本部長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会に27人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、関係案件を両委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員 (27人)

笠木 薫 (民主)	滝口 直人 (自民)
村田 光成 (自民)	浅野 貴博 (自民)
安住 太伸 (自民)	内田 尊之 (自民)
山根 理広 (民主)	池端 英昭 (民主)
小岩 均 (民主)	白川 祥二 (結志)
中野渡志穂 (公明)	新沼 透 (結志)
畠山みのり (民主)	藤川 雅司 (民主)
沖田 清志 (民主)	佐藤 禎洋 (自民)
清水 拓也 (自民)	笠井 龍司 (自民)
三好 雅 (自民)	八田 盛茂 (自民)
真下 紀子 (共産)	森 成之 (公明)
滝口 信喜 (結志)	千葉 英守 (自民)
吉田 正人 (自民)	喜多 龍一 (自民)
高橋 文明 (自民)	

○決算特別委員 (27人)

植村 真美 (自民)	佐々木大介 (自民)
浅野 貴博 (自民)	池端 英昭 (民主)
田中 英樹 (公明)	宮川 潤 (共産)
荒当 聖吾 (公明)	赤根 広介 (結志)
菅原 和忠 (民主)	畠山みのり (民主)
藤川 雅司 (民主)	沖田 清志 (民主)
笹田 浩 (民主)	桐木 茂雄 (自民)
佐藤 禎洋 (自民)	清水 拓也 (自民)
船橋 賢二 (自民)	花崎 勝 (自民)
村木 中 (自民)	松浦 宗信 (自民)
松山 丈史 (民主)	中山 智康 (結志)
大河 昭彦 (結志)	東 国幹 (自民)
小畑 保則 (自民)	喜多 龍一 (自民)
神戸 典臣 (自民)	

議案第8号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第14号及び第21号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会にそれぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため9月26日から9

月27日まで及び9月30日から10月3日までの本会議を休会することに決定し、午後4時40分散会。

○10月4日（金） 午後3時22分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第25号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、環境生活委員長、少子・高齢社会対策特別委員長、経済副委員長、建設副委員長、文教委員長、新幹線・総合交通体系対策特別副委員長、農政副委員長、水産林務委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第12号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第12号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立多数により原案可決。

議案第1号ないし第11号及び第13号ないし第25号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについていずれも異議なく原案可決。

日程第2 議案第26号及び第27号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案26号及び第27号を問題とし、いずれも異議なく同意議決。

日程第3 決議案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略。採決に入り、異議なく原案可決。

日程第4 意見案第1号を議題とし、田中芳憲議員（自民）から、説明の後、沖田清志議員（民主）及び宮川潤議員（共産）から質疑があり、委員会付託を省略。討論に入り、笹田浩議員（民主）及び真下紀子議員（共産）から反対討論があつて、討論終結。起立採決の結果、起立多数により原案可決。

日程第5 意見案第2号ないし第6号を議題とし、説明を省略して、異議なく原案可決。

日程第6 議員派遣の件を議題とし、議員を派遣することについて異議なく決定。

閉会中継続審査の件について、決算特別委員長から、報告第1号ないし第4号について、申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することを決定。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長から、申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に

付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第1号ないし第4号を除きすべて議了。

午後9時55分閉会。

提出案件

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議事結果
元. 9. 10	1	令和元年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	2	令和元年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	3	令和元年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予算	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	4	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案	総務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	5	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	6	北海道立文書館条例の一部を改正する条例案	総務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	7	北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例案	環境生活	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	8	母子福祉資金等の償還の免除に関する条例の一部を改正する条例案	少子・高齢社会対策	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	9	北海道経済部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	経済	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	10	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	建設	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	11	北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例案	建設	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	12	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	建設	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	13	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文教	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	14	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合交通体系対策	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	15	水利施設等整備事業（畑地帯担い手育成型）等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農政	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	16	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農政	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	17	水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	18	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	19	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	20	訴えの提起に関する件	水産林務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	21	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく公共施設等運営権の設定に関する件	新幹線・総合交通体系対策	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	22	北海道公立大学法人札幌医科大学の中期目標の変更に関する件	総務	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	23	工事請負契約の締結に関する件	農政	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 10	24	財産の取得に関する件	農政	元. 10. 4	原案可決
元. 9. 19	25	北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案	総務	元. 10. 4	原案可決
元. 10. 4	26	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	元. 10. 4	同意議決
元. 10. 4	27	北海道土地利用審査会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	元. 10. 4	同意議決

報 告

提 出 年 月 日	番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 結 事 果
元. 9. 10	1	平成30年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	決 算	元. 10. 4	継続審査
元. 9. 10	2	平成30年度北海道電気事業会計決算に関する件	決 算	元. 10. 4	継続審査
元. 9. 10	3	平成30年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	決 算	元. 10. 4	継続審査
元. 9. 10	4	平成30年度北海道病院事業会計決算に関する件	決 算	元. 10. 4	継続審査
元. 9. 10	5	平成30年度北海道市町村振興基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	6	平成30年度北海道美術品取得基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	7	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	8	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	9	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	10	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	11	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	12	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	13	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	14	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	15	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	16	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	17	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
元. 9. 10	18	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

第3回定例会において議員及び委員会から提出のあった案件

決 議 案

提 年 月 日	出 日	番 号	件 名	提 出 者	議 年 月 日	議 決 日	議 結 果	事 果
元.10.	3	1	日米貿易協定に関する決議	笠井 龍司議員外4人	元.10.	4	原案可決	

意 見 案

提 年 月 日	出 日	番 号	件 名	提 出 者	議 年 月 日	議 決 日	議 結 果	事 果
元.10.	3	1	国会における憲法論議についての意見書	田中 芳憲議員外5人	元.10.	4	原案可決	
元.10.	3	2	診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書	保健福祉委員長 沖田 清志	元.10.	4	原案可決	
元.10.	3	3	北方領土問題の解決促進等に関する意見書	北方領土対策特別委員長 松浦 宗信	元.10.	4	原案可決	
元.10.	3	4	タクシー運賃の自動認可運賃及び公定幅運賃の早期改定認可を求める意見書	新幹線・総合交通体系対 策特別委員長 中司 哲雄	元.10.	4	原案可決	
元.10.	3	5	地域医療構想に関する意見書	保健福祉委員長 沖田 清志	元.10.	4	原案可決	
元.10.	3	6	「北海道における持続的な鉄道網の確立」への対応を求める意見書	北海道地方路線問題調査 特別委員長 喜多 龍一	元.10.	4	原案可決	

決 議 案

決議案第1号

日米貿易協定に関する決議

〔 元年3定
笠井 龍司議員外4人提出
令和元年10月4日 原案可決 〕

日米貿易協定については、9月25日、安倍総理大臣とトランプ大統領が、首脳会談を行い、日米貿易協定の最終合意を確認した。

国は、昨年9月の日米首脳会談後に発出された日米共同声明に沿って交渉を行い、最終合意において、農林水産品に係る日本側の関税については、TPPの範囲内とすることができたとし、米や木材・水産品全般などは関税削減・撤廃等からの「除外」となった。

しかしながら、既にTPP11協定と日EU・EPAが発効している中、さらに、日米貿易協定が加わることにより、本道の農林水産業は新たな国際環境下に置かれるなど、大きな変化に直面している。

こうした中、農業は、安全・安心で良質な農畜産物の安定生産だけではなく、国土や環境の保全、美しい農村景観の形成などの多面的な機能を発揮するとともに、食品加工や観光などの幅広い産業と結びつき、地域の経済・社会を支えており、米国産農産物の関税等の撤廃や削減により、北海道産農産物の価格が低下した場合、その影響は、農業のみならず、地域全体に重大な影響を及ぼしかねない状況となる。

よって、北海道議会は、国に対し、合意内容や本道農業への影響などについて、迅速かつ丁寧な説明を行うとともに、農業者が将来に希望を持って営農に取り組むことができるよう、本道農業の再生産が確保される万全な対策や、道産農産物の輸出の拡大に向けた支援を講ずることを求めるものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北 海 道 議 会

意見案

意見案第1号

国会における憲法論議についての意見書

〔元年3定
田中 芳憲議員外5人提出
令和元年10月4日 原案可決〕

国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則とする日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、国民の福祉、国家の発展に大きな役割を果たしてきた。

一方で、憲法施行当時と比較して、我が国を取り巻く国内外の諸情勢は、大きく変化しているものの、今日に至るまでの70年を超えるこの間、一度も改正が行われていない。

このような状況の中、我が国においては、平成19年に「日本国憲法の改正手続に関する法律」が成立し、これに伴い、衆参両院に、憲法改正原案等を審査する憲法審査会が設置され、憲法第96条に定める改正のための国民投票が可能となったところではあるが、国民による議論が進展しているとは言いがたい状況にある。

新しい時代にふさわしい国家のあり方を構想し、主権者である国民において幅広く議論されるよう努めることは、憲法改正の発議権を有し、国権の最高機関として国民から国政を負託されている国会の責務である。

よって、国においては、日本国憲法について、国民の広範な理解が得られるよう、国会の憲法審査会で丁寧な議論を進めるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
法務大臣
内閣官房長官

} 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第2号

診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

〔 元年3定
保健福祉委員長 沖田 清志提出
令和元年10月4日 原案可決 〕

2019年度の診療報酬の改定では、診療報酬本体部分は0.41%の引き上げとなったものの、薬価はマイナス0.51%の引き下げとなった。

安心・安全の医療を国民に安定して提供するためには、医療の質を損なわないよう、診療報酬の適正な水準を確保することが必要であり、必要な報酬が確保されてこそ、医療機関の経営が守られ医療提供体制が整えられて、国民生活を支えることができるものである。

また、公立病院は、都市部から離島・僻地まで存在し、民間医療機関では対応することが困難な医療に積極的に対応するなど、地域における基幹病院としての役割を担っているため、経営は一層厳しいものとなっており、医師・看護師不足のために、一時的に閉鎖している病床を、将来にわたって閉鎖を固定化する事態も懸念される。

道内医療機関における病床削減は、出産のできる医療施設や救急医療の受け入れ施設が減少している現状に拍車をかけることにもつながりかねない。

よって、国においては、地域医療を守り、国民医療の充実を図るため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 診療報酬の引き下げは行わず、適正な水準を確保すること。
- 2 公立病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保を図ること。
- 3 地域の医療需要を満たす医療提供体制を構築すること。
- 4 医師・看護師等医療人材の確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣
規制改革担当大臣 } 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第3号

北方領土問題の解決促進等に関する意見書

〔 元年3定
北方領土対策特別委員長 松浦 宗信提出
令和元年10月4日 原案可決 〕

我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島の返還の実現は、戦後残された最大の国家課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかし、戦後74年を経た今もなお、北方四島は返還されず、日ロ両国間に平和条約が締結されていないことはまことに遺憾である。

日ロ両国間における政治対話を促進し、さまざまな分野での交流を拡大して相互理解を深め、北方領土問題を解決して平和条約を締結することは、両国間関係の正常化のみならず、国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

しかし、父祖伝来の地として受け継いできた北方四島を追われた元島民は、既に6割を超える方々が亡くなられ、存命の方々の平均年齢も84歳を超えており、一刻も早い領土問題の解決が望まれている。

また、全ての道民も、日ロ両首脳による領土問題解決に向けた今後の外交交渉の一層の加速と具体的な進展を強く願っている。

そのような中、本年9月5日の日ロ首脳会談では、平和条約締結問題については、未来志向で作業することが再確認され、交渉を継続する方針で一致したものの具体的な進展は見られず、道民はもとより元島民や返還要求運動関係者を初めとした、国民の切なる願いが実現に至らなかったことは、まことに残念と言わざるを得ない。

よって、国においては、北方四島の早期返還の実現を求める国民の総意と心情に応え、日ロ両国間において今日までに達成された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し、平和条約を締結するための強力な外交交渉を進めるとともに、特に次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 国民世論の結集と高揚並びに国際世論の喚起や北方領土教育の充実を初め、青少年対策を強化するとともに、内閣総理大臣による北方領土隣接地域からの北方領土視察を実現するなど、北方領土返還要求運動の一層の推進を図ること。
- 2 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を充実、強化すること。
- 3 北方四島交流事業、北方墓参事業及び自由訪問事業の円滑な実施を図るとともに、四島交流の拡充を通じ、双方の協力を高め、信頼関係を強化すること。
- 4 北方四島における共同経済活動に関する協議に当たっては、我が国の法的立場を遵守しながら、領土問題の解決を通じた平和条約の締結に結びつけること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
文部科学大臣
農林水産大臣
国土交通大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 } 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第4号

タクシー運賃の自動認可運賃及び公定幅運賃の早期改定認可を求める意見書

元年3定
新幹線・総合交通体系対策特別委員長 中司 哲雄提出
令和元年10月4日 原案可決

北海道では、全国を上回るスピードで人口減少、少子高齢化が進展しており、地域における移動手段の確保が喫緊の課題となっている。

国においては、地方圏の活力を維持し、人々が安心して暮らすことができるよう、医療、福祉、買い物支援など生活機能の確保を図るため、地域の交通と一体となったまちづくりの推進など、各般の交通政策を推進している。

とりわけ、タクシーは、地域住民をドア・ツー・ドアで目的地へ運ぶ唯一の公共交通機関として重要な役割を果たしており、インバウンド拡大に伴う駅や空港からの2次交通はもちろん、今後、超高齢化社会を迎える中、運転免許の返納等による高齢者の通院や買い物での利用、あるいは市町村や福祉施設等のデマンドタクシーの運行を担うなど、地域にとって欠かすことができない存在となっている。

こうした中、本年8月30日に10月1日からの消費税率引き上げに伴う新たな運賃が公示されたが、その内容は全国一律で消費税転嫁分のみ改定となっており、通常の運賃改定は、消費者への負担感の増大などを考慮し継続審議となった。

しかしながら、運転手や人件費の確保を初め、タクシー事業者を取り巻く環境は、燃料費高騰、車両更新などで費用負担がかさみ、年々厳しさを増している。

よって、国においては、各地域の公共交通機関として重要な役割を担うタクシー事業の持続的かつ安定的な運営を図るためにも、今般見送られた通常の運賃改定を速やかに行うとともに、運賃改定ごとにタクシーメーターの改修等の費用が生じることから、その費用に対する支援についても強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
国土交通大臣 } 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第5号

地域医療構想に関する意見書

（元年3定
保健福祉委員長 沖田 清志提出
令和元年10月4日 原案可決）

先月26日に開催された「地域医療構想に関するワーキンググループ」において、診療実績データ等による分析の結果として、診療実績が特に少ない、または、医療機能が類似し、かつ近接しているとされた公立・公的医療機関等が公表され、道内からは54の医療機関が対象となった。

公表された医療機関においては、地域で担うべき役割や医療機能別の病床数等に係る具体的対応方針が、他の医療機関の診療実績や将来の医療需要等を踏まえ、地域医療構想に沿ったものとなっているか再検証することが求められ、その結論を来年9月までに得ることとされている。

人口減少が進む中、地方創生に取り組む地域にとって、医療は欠くことのできない社会基盤であり、本道においては、地域医療構想のもとで、急性期機能の集約化や医療機関の再編・統合など、効率的な医療提供体制の構築を図るべく、地域の関係者が連携し、さまざまな議論を積み重ねている状況にある中、特定のデータ、全国一律の基準による分析によって、個別の医療機関に再編・統合の検討を求める方法は、地域の実情に対する配慮を欠き、地域の議論に停滞や混乱をもたらしかねない。

よって、国においては、今般の分析の趣旨や取り扱いについて十分に説明責任を果たすとともに、医療機関が再検証した内容については地域の意向として尊重し、結論を得る時期についても地域の実情を踏まえて柔軟に対応することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣
規制改革担当大臣 } 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第6号

「北海道における持続的な鉄道網の確立」への対応を求める意見書

元年3定
北海道地方路線問題調査特別委員長 喜多 龍一提出
令和元年10月4日 原案可決

昭和62年4月に国鉄が分割民営化されJR各社が発足してから32年が経過し、国においては、分割民営化により、効率的で責任のある経営ができる体制が整えられた結果、全体として鉄道サービスの信頼性や快適性が格段に向上し、経営面においても、JR本州3社に続き、JR九州も完全民営化されるなど、国鉄改革の所期の目的を果たしつつあるとしている。

しかしながら、JR北海道及びJR四国においては、分割民営化に際し、経営の安定を図るために設けられた経営安定基金が、低金利下において営業損失を補うに十分な運用益を得られておらず、基金の実質的な積み増しや設備投資に対する助成や無利子貸し付けといった追加支援を実施してもなお、経営の安定化が図られていない状況にある。

こうした状況において、国は、平成30年7月にJR北海道に対する監督命令を発し、経営改善に向けた取り組みを命ずるとともに、令和2年度まで、400億円台の支援を行うことを決定したものの、いわゆる黄色線区の支援に関しては、地方に同水準の負担を求めているが、国鉄改革の目的が達せられていない中、国と地方が同水準の支援を行うとする地域公共交通活性化再生法の枠組みで事業範囲の見直し問題を議論することは適切ではなく、JR北海道の経営問題として捉え、引き続き、経営に強い権限を有する国が中心的な役割を担い、道内各地を結ぶ路線の維持を図りながら、JR北海道の経営自立を果たしていく必要がある。

また、北海道における鉄道は、地域住民や観光客等を道内各地に運ぶ旅客輸送のみならず、全国各地をネットワークで結び、低コストで安定的に輸送可能な物流基盤として大変重要な役割を担っており、我が国の食料供給基地である北海道から新鮮な農畜産物を全国に移出するほか、宅配品や書籍といった道民の生活必需品を道内に移入するなど、北海道の鉄道が国民生活の利便性向上に大きな役割を果たしていることを踏まえた対応が求められている。

よって、国においては、令和3年度以降のJR北海道に対する支援の構築に当たって、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 国鉄改革の目的である株式上場を果たしていない現状や数次にわたる支援の経過を踏まえ、引き続き、国の責任において、JR北海道に対する支援を行うこと。
 - 2 国家的な公共インフラである青函トンネルの維持管理や、積雪・寒冷対策など、本道の特殊性に対応して、国の負担のあり方を抜本的に見直すこと。
 - 3 国家戦略の推進に必要な交通ネットワークを維持・形成する観点から、2次交通の維持・充実を図るスキームを構築すること。
 - 4 新千歳空港の発着枠拡大や道内空港の一括民間委託などインバウンドを初めとする来道者の拡大の動きに対応するために必要となる大規模な構想やプロジェクトに対しては、国家的見地から、大規模な支援を行うこと。
 - 5 JR北海道の経営自立に向けて、北海道新幹線の高速化をできる限り早期に実現するとともに鉄道貨物が本道の農産物の移出のみならず、全国各地からの道民の生活必需品の移入にも活用されている現状を十分勘案し、北海道と本州間における物流の確保を図るためのあらゆる方策を講ずること。
 - 6 JR上場4社による新たな基金の設置やJR上場4社の法人税を活用した支援スキームの構築など、支援資金確保のための抜本的な対策を講ずること。
 - 7 JR北海道が地域との確かな信頼関係のもと事業を行うよう、適切な指導を行うこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣

} 各通

北海道議会議長 村 田 憲 俊

請 願

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
2	北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の改善（平等化）を求める件	総 務	継続審査
3	北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件	環 境	継続審査

委員会の動き

議会運営委員会

○9月3日(火) 開議 午前11時31分
散会 午前11時33分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 令和元年第3回定例会について
- ・総務部長から招集日を9月10日(火)とする旨発言があり、これを了承。
 - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
 - ・会期について25日間とすることを決定。
 - ・日程について、配付の日程案のとおり取り進めることを決定。

[第3回定例会]

9月10日	本会議(提案説明)
9月11日～9月12日	休会
9月13日	本会議(代表質問)
9月17日	本会議(代表質問)
9月18日	休会
9月19日～9月20日	本会議(一般質問)
9月24日	本会議(一般質問)
9月25日	本会議(一般質問、予算・決算特別委員会設置)
9月26日～9月27日	休会
9月30日～10月3日	休会
10月4日	本会議

- ② 議場コンサートについて
- ・改選年である本年は、年1回、3定において開催することを決定。
 - ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の9月10日(火)に実施することを決定。

○9月9日(月) 開議 午前9時15分
散会 午前9時19分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 提出議案の事前説明について
- ・総務部長から説明。

- ② 代表質問及び一般質問の通告について
- ・代表質問は9月11日(水)、一般質問は9月17日(火)のそれぞれ正午までとする。
- ③ 予算特別委員会及び決算特別委員会について
- ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付の協議事項のとおりとする。
 - ・委員名簿の提出は、9月20日(金)正午までとする。
- ④ 議員派遣について
- ・配付のとおり、議長において派遣決定内容の変更を決定したことについて明日の本会議において、議長から報告する。
- ⑤ 休会について
- ・議案等調査のため、9月11日及び12日は本会議を休会し、9月13日(金)に再開することを決定。
- ⑥ 9月10日の本会議議事順序について
- ・明日の委員会において協議する。
- ⑦ 議員講演会について
- ・配付の実施要領案のとおり、定例会閉会日前日の10月3日(木)に実施することに決定。
- ⑧ 代表・一般質問における答弁について
- ・簡潔かつわかりやすい答弁となるよう、引き続き庁内へ周知願う。

○9月10日(火) 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 本日の本会議議事順序について
- ・事務局説明のとおりとする。
- ② 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。

○9月13日(金) 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 代表質問の通告について
- ・4名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとなることを報告。
- ② 代表質問の進め方について
- ・本日は1番吉川隆雅議員、2番市橋修治議員

の2名、9月17日（火）は3番佐藤伸弥議員、4番志賀谷隆議員の2名を行うことを決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○9月17日（火） 開議 午後零時15分
散会 午後零時16分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

① 代表質問について

- ・本日は3番から4番までの2名を行うことを了承。

② 休会について

- ・議案等調査のため、9月18日（水）は本会議を休会し、一般質問を9月19日（木）から行うことを決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午後1時開会とする。

○9月19日（木） 開議 午前9時15分
散会 午前9時18分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

① 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から追加提出議案について説明。
- ・追加提出議案については、本日の本会議において提案説明を行った後、一括議題として一般質問に入ることを決定。

② 一般質問について

- ・23名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ・通告内容等の変更について了承。
- ・本日は1番から6番までの6名、9月20日（金）は7番から12番までの6名、9月24日（火）は13番から16番までの4名、9月25日（水）は17番から23番までの7名の予定で取り進めることを決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○9月20日（金） 開議 午前9時18分
散会 午前9時19分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

① 本日の本会議について

- ・本日は7番から12番までの6名を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○9月24日（火） 開議 午後零時15分
散会 午後零時16分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

① 本日の本会議について

- ・通告内容等の変更について了承。

- ・本日は13番から16番までの4名を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午後1時開会とする。

○9月25日（水） 開議 午前10時6分
散会 午前10時9分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

① 一般質問について

- ・通告内容等の変更について了承。

- ・本日は17番から23番までの7名を行う。

② 予算特別委員会及び決算特別委員会について

- ・本日、一般質問終了後、設置する。
- ・両特別委員会の分科会委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。
- ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

③ 議案の各委員会付託について

- ・配付資料のとおり付託することを決定。

④ 休会について

- ・各委員会付託議案等審査のため、9月26日から27日まで及び9月30日から10月3日までは本会議を休会することとし、10月4日（金）に再開することを決定。
- ⑤ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑥ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。
 - ・10月4日の本会議は、午後1時開会とする。
- ・配付の申し出書のとおり、議長に、閉会中継続調査を申し出ることにより決定。
- ⑦ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑧ 令和元年第4回定例会の招集予定日について
 - ・総務部長から、11月26日（火）を予定している旨発言があり、これを了承。
- ⑨ 本会議開議時刻について
 - ・準備でき次第とする。

○10月4日（金） 開議 午後2時55分
 散会 午後2時59分
 議会運営委員会室
 委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・各委員会付託議案はすべて（予算3件、総務5件、環境生活1件、少子・高齢1件、経済1件、建設4件、文教1件、新幹線2件、農政4件、水産林務3件、以上25件）議了したことを報告。
 - ・決算特別委員会において審査中の報告第1号ないし第4号については、昨日の委員会において閉会中継続審査とすることに決定した旨報告。
- ② 追加提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から人事案件の追加提出について説明。
 - ・総務部長から説明のあった議案第26号及び第27号の人事案件については、本日の本会議において議決することを決定。
- ③ 決議案の取り扱いについて
 - ・決議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。
- ④ 意見案の取り扱いについて
 - ・意見案第1号ないし第6号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。
 - ・意見案第1号に関する質疑について、2名の通告があったことを報告。
 - ・質疑の順位について、配布の通告一覧のとおりとするに決定。
- ⑤ 議員派遣について
 - ・配付のとおり、本日の本会議において議決することを決定。
- ⑥ 継続調査の申し出について

常任委員会

総務委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時19分
散会 午後1時54分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 令和元年北海道殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊式出席の件 [決定]
1. 犯罪抑止対策に関する報告聴取の件
[道警察本部生活安全部参事官兼生活安全企画課長報告]

質問

1. 宮下 准一委員(自民)
～道職員倫理条例等に基づく対応について
1. 山根 理広委員(民主)
～道職員の採用等について
～街頭演説における道警察の措置について

○9月3日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時26分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 令和元年北海道殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊式出席報告の件 [委員長報告]
1. 北海道駒ヶ岳噴火総合防災訓練の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. G20観光大臣会合等に向けた警備諸対策に関する報告聴取の件
[道警察本部警備部長報告]

○9月9日(月) 開議 午前10時10分
散会 午前10時39分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

議事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総務部長説明]
1. 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告」に関する報告聴取の件
[財政局長報告]
1. 北海道公立大学法人札幌医科大学の中期目標期間(平成25年度～平成30年度)業務実績に関する評価結果及び平成30年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果に係る報告聴取の件
[法務・法人局長兼大学法人室長報告]
1. 「北海道庁本庁舎に設置されている免震オイルダンパー」に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政改革局長報告]

質問

1. 阿知良 寛美委員(公明)
～道税について

○10月3日(木) 開議 午前10時21分
散会 午前10時45分
第10委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

付託案件の審査

- 議案第4号
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)
- 議案第5号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第6号
北海道立文書館条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第22号
北海道公立大学法人札幌医科大学の中期目標の変更に関する件 (原案可決)
- 議案第25号

北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する
条例案 (原案可決)

委員長 中山 智康 (結志)

請願の審査

請願第2号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の改善(平等化)を求める件 (継続審査)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道防災総合訓練(後期)の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質問

1. 阿知良 寛美委員(公明)
～交通規制について

総合政策委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時24分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道立総合研究機構の第3期中期目標(素案)に関する報告聴取の件 [研究法人室長報告]
1. ブラジル・パラグアイ移住周年式典訪問事業に関する報告聴取の件 [国際局長報告]

○9月3日(火) 開議 午後1時6分
散会 午後1時32分
第2委員会室

議事

1. 日米貿易交渉に係る緊急要請の実施に関する報告聴取の件 [政策局長報告]
1. 令和2年度北海道開発予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [計画推進担当局長報告]
1. 「世界津波の日2019高校生サミット in 北海道」の開催に関する報告聴取の件 [世界津波の日高校生サミット推進室長報告]
1. G20観光大臣会合開催に向けた取り組み状況に関する報告聴取の件 [国際会合担当局長報告]

○9月9日(月) 開議 午前10時5分
散会 午前10時19分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

議事

1. 道総研の平成30年度業務実績に係る評価結果に関する報告聴取の件 [研究法人室長報告]
1. 夕張市、国及び北海道の三者協議に関する報告聴取の件 [地域振興局長報告]

○10月3日(木) 開議 午前10時15分
散会 午前10時37分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

議事

1. G20観光大臣会合地元歓迎レセプション出席の件 [決定]
1. 「平成30年度道内市町村における決算の概要(速報値)及び夕張市財政再生計画実施状況報告の概要」に関する報告聴取の件 [地域振興局長報告]
1. 「過疎地域の将来に向けた北海道の考え方(素案)」に関する報告聴取の件 [地域振興局長報告]
1. 日米貿易協定の最終合意及び日米貿易交渉に係る緊急要請の実施に関する報告聴取の件

[政策局長報告]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

環境生活委員会

- 8月6日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後3時2分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾(公明)

議事

1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例(素案)に対する道民意見の概要に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 北海道におけるアイヌ施策を推進するための方針(素案)の概要に関する報告聴取の件 [アイヌ政策推進局長報告]

質疑

1. 真下 紀子委員(共産)
～北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例(素案)に対する道民意見の概要について
1. 北口 雄幸委員(民主)
～北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例(素案)に対する道民意見の概要について
1. 太田 憲之委員(自民)
～北海道におけるアイヌ施策を推進するための方針(素案)の概要について
1. 真下 紀子委員(共産)
～北海道におけるアイヌ施策を推進するための方針(素案)の概要について

質問

1. 植村 真美委員(自民)
～狩猟の安全確保等について
1. 広田 まゆみ委員(民主)
～自然公園の活用について
1. 赤根 広介委員(結志)

～民族共生象徴空間ウポポイと文化振興について

- 9月3日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後2時20分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾(公明)

開議前

1. 環境生活部幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 秋の全国交通安全運動実施に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

質問

1. 道見 泰憲委員(自民)
～アイヌ総合政策の推進について
1. 赤根 広介委員(結志)
～アイヌ政策について
1. 真下 紀子委員(共産)
～ヒグマの保護管理等について

- 9月9日(月) 開議 午前10時12分
散会 午前10時59分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾(公明)

議事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 令和元年環境の状況等に関する年次報告に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道におけるアイヌ施策を推進するための方針(案)に関する報告聴取の件 [アイヌ政策推進局長報告]

質問

1. 道見 泰憲委員(自民)
～北海道のアイヌ施策の推進について

- 10月3日(木) 開議 午前10時22分

散会 午前11時7分
第3委員会室
委員長 荒当 聖吾（公明）

付託案件の審査

議案第7号

北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

請願の審査

請願第3号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件
(継続審査)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 令和元年度北海道スポーツ賞贈呈式への出席の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質問

1. 植村 真美委員（自民）
～道有施設のアスベスト対策について
～ゲノム編集技術応用食品の表示について
1. 真下 紀子委員（共産）
～道立スポーツ施設のバリアフリー化と喫煙状況について
～デフリンピックについて

保健福祉委員会

○8月6日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後2時48分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議事

1. 令和2年度（2020年度）国の施策及び予算に

関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]

1. 平成30年度（2018年度）歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 令和元年度（2019年度）北海道指定障害福祉サービス事業者等指導方針の概要に関する報告聴取の件 [福祉局長報告]
1. 平成30年度（2018年度）「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」に係る施策の推進状況に関する報告聴取の件 [障がい者支援担当局長報告]

質疑

1. 志賀谷 隆委員（公明）
～平成30年度（2018年度）歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況について

質問

1. 村田 光成委員（自民）
～北海道における医療費適正化について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～受動喫煙防止条例（仮称）の検討状況について
1. 宮川 潤委員（共産）
～補聴器購入費助成について

○9月3日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時19分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議事

1. 公衆浴場入浴料金の統制額の改定に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 「社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定の手引」の改訂に関する報告聴取の件 [福祉局長報告]

○9月9日（月） 開議 午前10時12分
散会 午前11時52分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [保健福祉部長説明]
1. 北海道医師確保計画（仮称）策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]
1. 北海道外来医療計画（仮称）策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 [地域医療推進局長報告]
1. 受動喫煙防止対策の推進に係る「北海道受動喫煙の防止に関する条例（仮称）」の基本的な考え方（案）に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]
1. 「北海道無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例」（素案）に関する報告聴取の件 [福祉局長報告]
1. 北海道ギャンブル等依存症実態調査結果報告書（案）に関する報告聴取の件 [障がい者支援担当局長報告]
1. 北海道ギャンブル等依存症対策推進計画（仮称）骨子（案）に関する報告聴取の件 [障がい者支援担当局長報告]
1. 「北海道債権管理条例に基づく債権放棄の報告」に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]
1. 「北海道病院事業改革推進プラン」に係る平成30年度（2018年度）事業の点検・評価結果に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]

質 疑

1. 宮川 潤委員（共産）
～北海道医師確保計画（仮称）策定に係る基本的な考え方について
～受動喫煙防止対策の推進に係る「北海道受動喫煙の防止に関する条例（仮称）」の基本的な考え方（案）について
～北海道ギャンブル等依存症実態調査結果報告書（案）及び北海道ギャンブル等依存症対策推進計画（仮称）骨子（案）について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～受動喫煙防止対策の推進に係る「北海道受動喫煙の防止に関する条例（仮称）」の基本的な考え方（案）について

○10月3日（木） 開議 午前10時16分
散会 午前10時23分
第7委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 意見案発議の件 [決定]
1. 「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調査」に関する報告聴取の件 [福祉局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

経 済 委 員 会

○8月6日（火） 開議 午後1時16分
散会 午後1時31分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 令和2年度（2020年度）国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 「地域経済の強化に向けた基本方針」に基づく取り組みに関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 「本道経済の活性化に向けた基本方針」の策定に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 人材確保に向けた連携事業に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

○9月3日（火） 開議 午後1時10分
散会 午後1時39分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

議 事

1. 卸売市場法の改正に伴う道条例等のあり方に関する報告聴取の件

[地域経済局長報告]

1. 「苫小牧東部開発新計画の進め方について【第3期】」の策定に関する報告聴取の件

[産業振興局長報告]

1. 第4期北海道雇用創出基本計画に基づく「平成30年度推進計画の取組結果」及び「本道の雇用情勢に関する点検評価（平成30年分）」に関する報告聴取の件
[労働政策局長報告]

質 疑

1. 吉田 正人委員（自民）
～第4期北海道雇用創出基本計画に基づく「平成30年度推進計画の取組結果」及び「本道の雇用情勢に関する点検評価（平成30年分）」について

質 問

1. 小泉 真志委員（民主）
～外国人材の受入れについて

○9月9日（月） 開議 午前10時8分
散会 午前10時29分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

議 事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長説明]
1. 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）の推進状況に関する報告聴取の件
[食関連産業室長報告]
1. 北海道科学技術振興計画の平成30年度推進状況に関する報告聴取の件
[科学技術振興室長報告]
1. 「北海道企業局経営戦略」骨子（案）に関する報告聴取の件 [企業局長報告]

○10月3日（木） 開議 午前10時17分
散会 午前10時32分
第8委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

付託案件の審査

議案第9号

北海道経済部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 令和元年度「北海道新技術・新製品開発賞」に関する報告聴取の件
[科学技術振興室長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 問

1. 小泉 真志委員（民主）
～灯油の安定供給と人材確保について

農 政 委 員 会

○8月6日（火） 開議 午後1時13分
散会 午後1時33分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 令和2年度（2020年度）国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件
[技術支援担当局長報告]

質 問

1. 滝口 直人委員（自民）
～農業・農村の多面的機能について
～醸造用ブドウの振興について
～家畜ふん尿の利活用の推進について

○9月3日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時45分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 令和2年度農業関係国費予算概算要求に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 日米貿易交渉に係る緊急要請の実施に関する

報告聴取の件 [農業経営局長報告]

質 疑

1. 滝口 直人委員 (自民)
～令和2年度農業関係国費予算概算要求について
1. 滝口 直人委員 (自民)
～日米貿易交渉に係る緊急要請の実施について
1. 松本 将門委員 (民主)
～日米貿易交渉に係る緊急要請の実施について

質 問

1. 滝口 直人委員 (自民)
～収入保険について

○9月9日(月) 開議 午前10時8分
散会 午前10時19分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏 (自民)

議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 農畜産物等の輸出の現状に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]

○10月3日(木) 開議 午前10時18分
散会 午前10時52分
第6委員会室
委員長 中野 秀敏 (自民)

付託案件の審査

議案第15号

水利施設等整備事業(畑地帯担い手育成型)等に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議案第16号

道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議案第23号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第24号

財産の取得に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件
[技術支援担当局長報告]
1. 日米貿易協定の合意内容及び緊急要請の実施等に関する報告聴取の件
[農業経営局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 滝口 直人委員 (自民)
～日米貿易協定の合意内容及び緊急要請の実施等について
1. 松本 将門委員 (民主)
～日米貿易協定の合意内容及び緊急要請の実施等について

水産林務委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時17分
散会 午後1時35分
第5委員会室
委員長 三好 雅 (自民)

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]

質 問

1. 桐木 茂雄委員 (自民)
～木育マイスターを活用した木育活動の推進について
～北の森づくり専門学院の開校に向けた取り組みについて

○9月3日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時20分
第5委員会室
委員長 三好 雅 (自民)

議 事

1. 令和2年度国費予算の概算要求等に関する報告聴取の件 [水産林務部長報告]
1. 日米貿易交渉に係る緊急要請の実施に関する報告聴取の件 [水産林務部技監報告]

○9月9日(月) 開議 午前10時10分
散会 午前10時24分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 「北海道・木育フェスタ2019植樹祭・育樹祭」(第70回北海道植樹祭・育樹祭)参加の件 [決定]
1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]
1. 北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)の推進状況に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震に係る水産・林業関係被害の復旧状況に関する報告聴取の件 [水産林務部次長報告]

○10月3日(木) 開議 午前10時20分
散会 午前10時36分
第5委員会室
委員長 三好 雅(自民)

付託案件の審査

議案第17号

水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第18号

林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第20号

訴えの提起に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 「第70回全国漁港漁場大会」参加の件 [決定]

1. 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告聴取の件 [水産局長報告]

1. 中西部太平洋まぐろ類委員会第15回北小委員会の開催結果に関する報告聴取の件 [水産局長報告]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 桐木 茂雄委員(自民)
～全国豊かな海づくり大会について

建設委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時18分
散会 午後1時31分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

開 議 前

1. 幹部職員の紹介

議 事

1. 道路の整備に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年7月の豪雨被害による公共土木施設の復旧状況等に関する報告聴取の件 [建設部長報告]
1. 南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジに関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

○9月3日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時24分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

議 事

1. 令和2年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [建設部長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震からの復旧状況に関する報告聴取の件 [建設部長報告]
1. 「道営住宅における保証人制度のあり方について

て」の答申に関する報告聴取の件
〔住宅局長報告〕

○9月9日(月) 開議 午前10時10分
散会 午前10時15分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

議事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 〔建設部長説明〕

○10月3日(木) 開議 午前10時17分
散会 午前10時34分
第4委員会室
委員長 村木 中(自民)

付託案件の審査

議案第10号

北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第11号

北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第12号

北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第19号

流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 〔決定〕
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 〔決定〕

質問

1. 田中 英樹委員(公明)
～水位情報の提供について
～道営住宅における北海道胆振東部地震被災者への対応について

文教委員会

○8月6日(火) 開議 午後1時11分
散会 午後1時37分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

議事

1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 〔委員長報告〕
1. 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査に関する報告聴取の件 〔指導担当局長報告〕

質疑

1. 檜垣 尚子委員(自民)
～平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について

質問

1. 寺島 信寿委員(公明)
～児童生徒の学習用具などの携行品について

○9月3日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時20分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

議事

1. 第62回北海道私立幼稚園教育研究大会道東ブロック大会(釧路大会)出席の件 〔決定〕
1. 公立高等学校配置計画(令和2年度(2020年度)～4年度(2022年度))に関する報告聴取の件 〔高校配置担当局長報告〕
1. 令和2年度(2020年度)公立特別支援学校配置計画に関する報告聴取の件 〔特別支援教育担当局長報告〕

○9月9日(月) 開議 午前10時7分
散会 午前10時29分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

議 事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長説明]
1. 平成30年度(2018年度)北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書に関する報告聴取の件 [総務政策局長報告]

質 疑

1. 木葉 淳委員(民主)
～平成30年度(2018年度)北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について

質 問

1. 木葉 淳委員(民主)
～教頭昇任候補者選考について

○10月3日(木) 開議 午前10時18分
散会 午前10時49分
第9委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

付託案件の審査

議案第13号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 第62回北海道私立幼稚園教育研究大会道東ブロック大会(釧路大会)出席報告の件 [委員長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 令和5年度全国高等学校総合体育大会(夏季大会)の北海道開催に関する報告聴取の件 [指導担当局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 疑

1. 内田 尊之委員(自民)
～令和5年度全国高等学校総合体育大会(夏季大会)の北海道開催について

質 問

1. 木葉 淳委員(民主)
～札幌養護学校高等部の札幌白陵高校への移転について

特 別 委 員 会

産炭地域振興・エネルギー問題 調 査 特 別 委 員 会

○8月7日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時44分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 令和元年度(2019年度)省エネルギー・新エネルギー関連施策の展開方針に関する報告聴取の件 [環境・エネルギー室長報告]
1. 幌延深地層研究計画平成30年度(2018年度)調査研究成果報告に関する報告聴取の件 [環境・エネルギー室長報告]
1. 令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)に関する報告聴取の件 [環境・エネルギー室長報告]

質 疑

1. 笠井 龍司委員(自民)
～令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)について
1. 藤川 雅司委員(民主)
～令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)について

○9月4日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時30分
第8委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]

- 1. エネルギー施策懇話会に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]
- 1. 幌延深地層研究計画に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

委員長 松浦 宗信 (自民)

質 疑

- 1. 池本 柳次委員 (結志)
～幌延深地層研究計画について

質 問

- 1. 星 克明委員 (自民)
～原発の安全対策と道民への説明について

○9月9日(月) 開議 午後1時8分
散会 午後1時13分
第8委員会室
委員長 東 国幹 (自民)

議 事

- 1. 第2期北海道環境産業振興戦略に係る平成30年度(2018年度)の実績及び令和元年度(2019年度)の推進状況に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

○10月3日(木) 開議 午後1時6分
散会 午後1時19分
第8委員会室
委員長 東 国幹 (自民)

議 事

- 1. 令和元年度(2019年度)北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

質 問

- 1. 桐木 茂雄委員 (自民)
～エネルギーの強化と既存送電線の活用について

北方領土対策特別委員会

○8月7日(水) 開議 午前10時8分
散会 午前10時19分
第5委員会室

議 事

- 1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
- 1. 令和元年度(2019年度)北方領土返還要求運動強調月間に関する説明聴取の件
[北方領土対策局長説明]
- 1. 2019北方領土返還要求北海道・東北国民大会出席及び啓発街頭行進参加の件 [決定]
- 1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

○9月4日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時29分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信 (自民)

議 事

- 1. 2019北方領土返還要求北海道・東北国民大会出席及び啓発街頭行進参加報告の件
[委員長報告]
- 1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
- 1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
- 1. 北方四島訪問実施報告の件
[委員長報告]
- 1. 共同経済活動に係る「ゴミ処理」分野のロシア人専門家の視察に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

質 疑

- 1. 大越 農子委員 (自民)
～北方四島交流事業等の実施について

○10月3日(木) 開議 午後1時9分
散会 午後1時53分
第5委員会室
委員長 松浦 宗信 (自民)

議 事

- 1. 意見案発議の件 [決定]
- 1. 北方領土返還要求運動滋賀県民会議との意見交換会への出席の件 [決定]

1. 令和元年度北方領土返還要求運動強調月間の実施結果に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]
1. 共同経済活動に係る「ごみ処理」分野の日本人専門家の四島訪問に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

質 問

1. 大越 農子委員（自民）
～北方墓参事業について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～隣接地域の振興のあり方について

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○8月7日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前10時36分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

議 事

1. 令和2年度（2020年度）国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 「北海道新幹線札幌トンネル（札幌）立坑工事着手に伴う安全祈願」出席の件 [決定]
1. 北海道新幹線並行在来線対策協議会第6回ブロック会議の開催結果に関する報告聴取の件
[新幹線推進室長報告]

質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第6回ブロック会議の開催結果について

質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）
～新千歳空港における発着枠の拡大について
1. 菊地 葉子委員（共産）
～北海道新幹線のトンネル工事に伴う発生土について

○9月4日（水） 開議 午前10時10分

散会 午前10時47分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

開 議 前

1. 幹部職員の紹介

議 事

1. 道外調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 「北海道新幹線札幌トンネル（札幌）立坑工事着手に伴う安全祈願」出席報告の件
[委員長報告]
1. 北海道交通・物流連携会議の開催結果に関する報告聴取の件
[交通・物流連携担当局長報告]
1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件
[航空局長報告]
1. 新千歳空港における24時間運用に関する報告聴取の件
[新千歳空港周辺対策担当局長報告]
1. 道内空港の運営の民間委託に係る取り組みに関する報告聴取の件
[空港運営戦略推進室長報告]

質 疑

1. 喜多 龍一委員（自民）
～北海道交通・物流連携会議の開催結果について
1. 清水 拓也委員（自民）
～道内空港の運営の民間委託に係る取り組みについて

○9月9日（月） 開議 午後1時13分
散会 午後1時22分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

議 事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[交通企画監、空港戦略推進監説明]
1. 北海道におけるクルーズ船誘致方針（素案）に関する報告聴取の件
[交通・物流連携担当局長報告]

○10月3日(木) 開議 午後1時10分
散会 午後1時30分
第1委員会室
委員長 中司 哲雄(自民)

付託案件の審査

議案第14号
空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第21号
民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく公共施設等運営権の設定に関する件 (原案可決)

議事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]

質問

1. 赤根 広介委員(結志)
～クルーズ船誘致などについて

人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

○8月7日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前11時10分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 令和2年度(2020年度)国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道創生総合戦略の検証及び推進状況に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

質疑

1. 植村 真美委員(自民)
～北海道創生総合戦略の検証及び推進状況について
1. 池端 英昭委員(民主)

～北海道創生総合戦略の検証及び推進状況について

1. 新沼 透委員(結志)
～北海道創生総合戦略の検証及び推進状況について

○9月4日(水) 開議 午前10時6分
散会 午前10時16分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

議事

1. 令和2年度地方創生関連国費予算の概算要求に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 市町村総合戦略の推進上の課題等に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○9月9日(月) 開議 午後1時10分
散会 午後1時21分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

議事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [地域振興監説明]
1. 次期北海道創生総合戦略骨子案に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 顧問の任命に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○10月3日(木) 開議 午後1時9分
散会 午後1時14分
第2委員会室
委員長 佐藤 伸弥(結志)

議事

1. 「関係人口創出・拡大モデル事業」(令和元年度)の概要に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

少子・高齢社会対策特別委員会

○8月7日(水) 開議 午前10時11分
散会 午前11時4分

第7委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 令和2年度（2020年度）国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 令和元年度（2019年度）北海道介護保険施設等指導方針の概要に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]
1. 平成30年度（2018年度）第3期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」推進状況に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]
1. 平成30年度（2018年度）「北海道子どもの貧困対策推進計画」推進状況に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]
1. 平成30年度（2018年度）道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]

質 問

1. 真下 紀子（共産）
～介護保険について

○9月4日（水） 開議 午前10時7分
散会 午前10時13分
第7委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議 事

1. 「社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定の手引」の改訂に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]

○9月9日（月） 開議 午後1時14分
散会 午後2時6分
第7委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議 事

1. 令和元年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [少子高齢化対策監説明]
1. 第4期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]
1. 「北海道若者生活実態調査結果」及び「北海道子どもの居場所に関する実態調査結果」に関する報告聴取の件
[子ども未来推進局長報告]
1. 第2期「北海道子どもの貧困対策推進計画」策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～「北海道若者生活実態調査結果」及び「北海道子どもの居場所に関する実態調査結果」について

○10月3日（木） 開議 午後1時8分
散会 午後1時21分
第7委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

付託案件の審査

議案第8号

母子福祉資金等の償還の免除に関する条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調査」に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調査」について

食と観光対策特別委員会

○8月7日（水） 開議 午前10時15分

散会 午前11時58分
第10委員会室
委員長 市橋 修治 (民主)

開 議 前

1. 幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. I R (統合型リゾート) に関する報告聴取の件 [観光振興監、観光局長報告]
1. 法定外目的税の導入に向けた考え方に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]

質 疑

1. 淵上 綾子委員 (民主)
～ I R (統合型リゾート) について
1. 三津 丈夫委員 (民主)
～ I R (統合型リゾート) について
1. 白川 祥二委員 (結志)
～ I R (統合型リゾート) について
1. 宮川 潤委員 (共産)
～ I R (統合型リゾート) について

○9月4日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前11時
第10委員会室
委員長 市橋 修治 (民主)

議 事

1. 「平成30年度北海道観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 旅行需要喚起に向けた緊急対策に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]
1. I Rに関するアンケート調査の実施に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

質 疑

1. 淵上 綾子委員 (民主)
～ I Rに関するアンケート調査の実施について
1. 宮川 潤委員 (共産)
～ I Rに関するアンケート調査の実施について

○9月9日(月) 開議 午後1時12分

散会 午後1時48分
第10委員会室
委員長 市橋 修治 (民主)

議 事

1. 住宅宿泊事業法への対応に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

質 問

1. 遠藤 連委員 (自民)
～ I Rについて

○10月3日(木) 開議 午後1時13分
散会 午後2時
第10委員会室
委員長 市橋 修治 (民主)

議 事

1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 海外悪性伝染病への対応に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]

質 疑

1. 白川 祥二委員 (結志)
～海外悪性伝染病への対応について

質 問

1. 宮下 准一委員 (自民)
～統合型リゾート施設 (I R) について
1. 白川 祥二委員 (結志)
～ゲノム編集食品の表示について

北海道地方路線問題調査特別委員会

○8月7日(水) 開議 午後1時12分
散会 午後2時35分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一 (自民)

議 事

1. 全道的な鉄道利用促進の取り組みに関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 問

1. 三好 雅委員 (自民)

～全道的な鉄道利用促進について

1. 笠木 薫委員（民主）
～緊急的かつ臨時的な地域独自支援（2億円）
について
～令和3年度以降の国の支援策について
1. 赤根 広介委員（結志）
～J R北海道の事業範囲の見直しについて
1. 真下 紀子委員（共産）
～全道的な鉄道利用促進の取り組みについて

○9月4日（水） 開議 午後1時11分
散会 午後1時36分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 北海道交通・物流連携会議の開催結果に関する報告聴取の件
[交通・物流連携担当局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～北海道交通・物流連携会議の開催結果について

質 問

1. 三好 雅委員（自民）
～J R北海道の経営改善について

○9月9日（月） 開議 午後2時31分
散会 午後3時57分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. J R北海道の事業範囲の見直しに関する報告
聴取の件
[交通政策局次長、交通政策局長報告]

質 問

1. 三好 雅委員（自民）
～J R北海道の経営改善について

1. 沖田 清志委員（民主）
～J Rの路線維持問題について

1. 赤根 広介委員（結志）
～J R北海道の事業範囲の見直しについて

1. 田中 英樹委員（公明）
～全道的な鉄道利用について

1. 真下 紀子委員（共産）
～地方路線の維持・存続への取り組みについて

○10月3日（木） 開議 午後2時27分
散会 午後2時43分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 意見案発議の件 [決定]

質 問

1. 赤根 広介委員（結志）
～J R北海道の事業範囲の見直しについて

予算特別委員会

○9月25日(水) 開会 午後4時58分
散会 午後5時8分
第1委員会室
委員長 千葉 英守(自民)

- ① 委員長に千葉英守委員(自民)、副委員長に小岩均委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する議案は、配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の分科委員名簿のとおり選出。

○第1分科会(委員13人)

滝口 直人(自民)	内田 尊之(自民)
山根 理広(民主)	池端 英昭(民主)
中野渡志穂(公明)	新沼 透(結志)
藤川 雅司(民主)	佐藤 禎洋(自民)
清水 拓也(自民)	三好 雅(自民)
八田 盛茂(自民)	滝口 信喜(結志)
高橋 文明(自民)	

○第2分科会(委員13人)

笠木 薫(民主)	村田 光成(自民)
浅野 貴博(自民)	安住 太伸(自民)
小岩 均(民主)	白川 祥二(結志)
畠山みのり(民主)	沖田 清志(民主)
笠井 龍司(自民)	真下 紀子(共産)
森 成之(公明)	吉田 正人(自民)
喜多 龍一(自民)	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人選任することを決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。

- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。
- ⑨ 委員の異動等について、申し出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、本委員長の承認を受け行うことを決定。

第1分科会

○9月25日(水) 開会 午後5時9分
散会 午後5時17分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也(自民)

- ① 分科委員長に清水拓也委員(自民)、分科副委員長に藤川雅司委員(民主)を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、内田尊之委員(自民)、山根理広委員(民主)、新沼透委員(結志)、中野渡志穂委員(公明)を選出。

○9月27日(金) 開議 午前10時2分
散会 午後4時43分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也(自民)

- ① **公安委員会所管に対する質疑**に入り、**佐藤 禎洋委員(自民)**から、
 - 1 観光地における路上駐車問題について

- ・現状に対する道警の認識
- ・これまでの地域との連携状況
- ・今後の対策

等について

藤川 雅司委員（民主） から、

1 児童虐待防止について

- ・児童虐待対策係設置の経緯と具体的な体制
- ・札幌市との連携方法
- ・児童虐待が疑われる事案への対応状況
- ・今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、生活安全部長、交通部長、生活安全部参事官及び交通指導課長から答弁があって、公安委員会所管に関する質疑を終結。

② **企業局所管に対する質疑**に入り、

三好 雅委員（自民） から、

1 経営戦略について

- ・策定の目的
- ・事業運営に係る今後の課題に対する認識
- ・施設の老朽更新や耐震化に対する今後の取り組み
- ・FIT適用期間終了後の経営状況とその後の対応
- ・地域新エネルギー導入アドバイザー制度の実績と今後の対応
- ・工業用水道事業において欠損金を計上するに至った経緯と今後の対応
- ・工業用水道事業の需要開拓に係る今後の取り組みと適切な料金設定への具体的な取り組み
- ・企業局における人材育成の取り組み
- ・今後10年間の電気事業と工業用水道事業の経営の見通し
- ・今後の事業運営に係る取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局長、企業局次長、総務課長、発電課長及び工業用水道課長から答弁があって、企業局所管に関する質疑を終結。

③ **保健福祉部所管に対する質疑**に入り、

佐藤 禎洋委員（自民） から、

1 産後ケアについて

- ・道の認識とこれまでの取り組み
- ・道内市町村の実施状況と課題
- ・道内で産後ケア事業に取り組む施設の現状
- ・今後の支援

2 医師確保計画等について

- ・計画の目指す姿及び医師確保方針
 - ・これまでの医師確保の取り組み
 - ・産科と小児科が計画に位置づけられた背景と道内の現状及び計画策定へ向けた検討の進め方と今後の取り組み
 - ・地域医療構想の実現に向けた今後の取り組み
- 3 感染症予防対策について
- ・麻疹・風疹等の感染症発生時における把握方法
 - ・過去3年間の麻疹・風疹発生状況及び流行の背景と地域の状況
 - ・過去3年間の先天性風疹症候群の発生状況
 - ・先天性風疹症候群予防に向けたこれまでの取り組みと新たな風疹予防対策の概要及び道内市町村の取り組み状況
 - ・施策の方向性と今後の取り組み
 - ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み
- 4 無料低額宿泊所について
- ・社会福祉法改正に係る具体的な見直し内容
 - ・道所管及び指定都市や中核市の状況
 - ・法改正を踏まえて制定する条例に対する考え方
 - ・単独での居住が困難な生活保護者に対する日常生活支援へ向けた取り組み状況
 - ・今後の取り組み

等について

山根 理広委員（民主） から、

1 児童虐待根絶と子どもの権利保護について

- ・懲戒権の見直しに係る道の内部における議論と対応状況
- ・児童虐待防止法等の改正に伴う対応及び児童相談所への弁護士配置に係る対応状況
- ・関係機関との情報連携に係る具体的な対応状況
- ・児童養護施設で勤務する専門職員の確保に対する考え
- ・道と札幌市の児童相談所の指導内容の一元化に対する認識
- ・施設で暮らす子どもの学習支援に対する考え
- ・児童相談所の人材確保に向けた環境整備と戦略的な人事施策に対する所見
- ・第3期子ども未来づくり計画における取り組みとこれまでの進捗状況に対する評価
- ・第4期実施計画策定に向けた所見

等について

滝口 直人委員（自民）から、

- 1 中高年の引きこもりについて
 - ・道内の状況と認識
 - ・連携会議の開催状況や取り組み
 - ・今後の取り組み
- 2 子どもの居場所づくりについて
 - ・前回実態調査からの推移と現状への認識及び運営上の具体的な課題と解決へ向けた支援
 - ・第2期子どもの貧困計画への位置づけと今後の取り組み

等について

藤川 雅司委員（民主）から、

- 1 児童虐待防止について
 - ・虐待防止法改正に対する受けとめ
 - ・道の児童相談所における現場の体制
 - ・虐待通告の実態及び職員の現状と認識
 - ・児童相談所の体制強化への対応
- 2 地域医療構想について
 - ・国からの再検証の要請内容と要請を踏まえた対応及び国が公表するデータ等の活用方法
 - ・今後の対応

等について

滝口 信喜委員（結志）から、

- 1 外国人患者への医療提供体制について
 - ・外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関に求められる要件及び選出の考え方と選出状況
 - ・地域の拠点的な医療機関の整備に向けた取り組み
 - ・地域における関係者間協議の必要性
 - ・外国人患者への対応力を高めるための医療従事者向け研修の具体的な内容と受講者数
 - ・今後の取り組み

等について

中野渡 志穂委員（公明）から、

- 1 児童虐待について
 - ・児相職員や教師以外の子どもと接する者が虐待に気づく力を高めることへの所見
 - ・地域での対応力を上げるための取り組み状況
 - ・気軽に相談できる体制づくりに向けた対応
 - ・今後の取り組み
- 2 子どもの発達障がいについて
 - ・専門医療機関の受診待機解消へ向けた取り組み

等について

新沼 透委員（結志）から、

- 1 医療福祉人材の確保について
 - ・医療・福祉人材確保室設置による取り組み内容の変化と今後の対策
 - ・医師確保対策に係る検証の視点と進捗状況
 - ・医師確保対策の状況と医師少数スポットに対する考え
 - ・医師確保方針の策定に対する考え
 - ・キャリア形成プログラムの内容
 - ・大学に対する医師地域枠の設定や拡充を要請できる権限への対応
 - ・産科・小児科医における地域偏在指標の考え方と内容
 - ・外来医療計画の策定へ向けた考え方と内容
 - ・働き方改革の医師確保計画への反映内容
 - ・新たな医師確保制度の構築に向けた所見
 - ・実効性のある医師確保計画の策定に向けた今後の取り組み
 - ・看護職員数の需給見通しと遠紋2次医療圏における看護師不足に対する認識
 - ・看護師養成所における養成力の維持向上に対する考えと定員充足に向けた取り組み
 - ・道立高等看護学院のあり方と紋別高等看護学院の移転改築の方向性

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、少子高齢化対策監、保健福祉部次長、地域医療推進局長、健康安全局長、子ども未来推進局長、福祉局障がい者支援担当局長、地域医療課長、地域医療課医師確保担当課長、地域医療課医療参事兼医務薬務課医療参事、医務薬務課長、医務薬務課看護政策担当課長、地域保健課長、地域福祉課保護担当課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課精神保健担当課長、子ども子育て支援課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

④ **環境生活部所管に対する質疑**に入り、

桐木 茂雄委員（自民）から、

- 1 ヒグマ被害対策について
 - ・生息数の把握と個体数管理に対する見解
 - ・箱わな設置に係る講習会の実施状況
 - ・ガバメントハンターの現状と対応及び市町村への助成に対する見解
 - ・振興局を中心とした広域的な取り組みに対する見解
 - ・被害の未然防止とその対策

- 2 アイヌ政策の推進について
 - ・道内における市町村地域計画の申請及び認定の状況
 - ・交付対象となる具体的な事業
 - ・事業実施までの手続
 - ・来年度における道のかかわり
 - ・今後の取り組み
- 3 水素社会の形成について
 - ・環境産業の育成・振興に関する取り組みと成果
 - ・これまでの民生利用促進の取り組みと成果
 - ・水素サプライチェーンモデルの構築に向けた取り組みと成果及びロードマップの達成状況に対する認識
 - ・水素社会の実現に向けた今後の対応

等について

池端 英昭委員（民主） から、

- 1 ヒグマ対策について
 - ・生息域や個体数の実態調査の効果
 - ・ヘアトラップ調査の活用方法
 - ・保護管理を行う人材育成等の体制構築に向けた取り組み
 - ・国主導の個体数把握に対する認識と今後の対応
 - ・ヒグマとの共生に対する見解
 - ・ヒグマの餌の適正管理に対する見解
 - ・電気柵の設置による生息域の分離
 - ・出没情報の収集と発信及び危険回避マニュアル整備への取り組み
 - ・狩猟者の社会的役割の周知及び地域の担い手確保に対する見解
 - ・保護管理を担う人材育成に対する見解
- 2 アイヌ政策について
 - ・紋別市藻別川におけるサケの採捕の経緯
 - ・アイヌ文化の伝承等を目的とする特別採捕の状況
 - ・アイヌ文化の保存・継承に係る取り組み
 - ・共生社会実現のための取り組み
- 3 循環型社会の形成に向けた取り組みについて
 - ・特定調達品目の近年の推移と調達実績
 - ・今年度の環境物品等調達方針見直しの内容
 - ・市町村における環境物品等調達促進の取り組み
 - ・廃棄物の発生抑制に係る取り組み
 - ・今後の取り組み

- ・北海道らしい循環型社会のあり方
- 4 水素社会の実現に向けた取り組みについて
 - ・水素製造事業の現状と進捗
 - ・本道における現在の供給体制
 - ・F C Vの導入状況及び導入拡大に向けた助成制度創設に対する所見
 - ・水素利用機器や設備の技術開発の進捗状況
 - ・札幌市での普及拡大への取り組み
 - ・水素の製造・供給・利用促進に係る今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、アイヌ政策監、アイヌ政策推進局長、環境局気候変動対策担当局長、環境局生物多様性担当局長、循環型社会推進課長、気候変動対策課長、気候変動対策課民間連携担当課長、生物多様性保全課動物管理担当課長及びアイヌ政策課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○ 9月30日（月） 開議 午後1時3分
散会 午後5時18分
第1委員会室
第1分科委員長
清水 拓也（自民）

① **環境生活部に対する質疑**を続行し、
滝口 直人委員（自民） から、

- 1 縄文世界遺産登録に向けた取り組みについて
 - ・今後の登録に必要な手続と登録までのスケジュール
 - ・イコモスの現地調査に向けたリハーサルの目的と内容
 - ・審査制度改正による登録への影響
 - ・今後の取り組み
- 2 アライグマ対策について
 - ・アライグマの分布状況と今後の予測及び農業被害の状況
 - ・市町村における防除実施計画の策定状況と未策定市町村の理由
 - ・捕獲作業における課題と対応方法
 - ・生息数推計の考え方と今後の対応方法
 - ・根絶に向けた今後の取り組み

等について

藤川 雅司委員（民主） から、

- 1 人権施策について
 - ・北海道人権施策推進基本方針に係る点検の視点及び今後のスケジュール

- ・ウポポイ開業等の機会を捉えた人権に重点を置いた取り組みに対する考え

等について

滝口 信喜委員（結志） から、

- 1 P C B 廃棄物処理事業の進捗状況について
 - ・北海道事業エリアの処理期限と北海道 P C B 処理事業所の処理状況
 - ・未把握の廃棄物の掘り起こし調査の方法
 - ・北九州事業エリアにおける事業終了の状況
 - ・計画処理完了期限終了後に発覚した廃棄物の継続的な保管方法
 - ・北海道事業エリアの処理完了に向けた対応
 - ・北九州 P C B 処理事業所における今後の解体手順と施設の有効活用に係る検討状況及び事業終了に伴う雇用への影響と従業員の年齢構成
 - ・期限つき従業員の数
 - ・今後の取り組み

等について

中野渡 志穂委員（公明） から、

- 1 エゾシカの有効活用について
 - ・認証施設における食肉処理等の対応状況
 - ・認証施設が抱える課題への認識と取り組み
 - ・今年度におけるエゾシカジビエ利用拡大推進事業の実施方法
 - ・さらに拡大させるための課題
 - ・今後の取り組み
- 2 性暴力被害者支援について
 - ・被害者支援センターの相談状況
 - ・性暴力被害の実態
 - ・相談できない被害者に対する支援の取り組み
 - ・病院拠点型センターの他都府県の状況と認識及び道への導入に係る見解

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境局長、くらし安全局長、文化局長、環境局生物多様性担当局長、循環型社会推進課環境保全担当課長、生物多様性保全課長、生物多様性保全課エゾシカ担当課長、道民生活課長及び及び文化振興課縄文世界遺産推進室長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

内田 尊之委員（自民） から、

- 1 交通政策について
 - ・ J R 北海道の経営基盤強化に対する所見
 - ・地域の負担に対する認識及び国と地域の役割

分担に対する考え

- ・経営安定基金の安定的確保に対する見解
- ・青函トンネルの維持管理コストに係る問題点と国に求める支援の内容
- ・線路使用料スキームの問題点と国に求める支援の内容
- ・青函トンネルの共用走行問題への対応方法
- ・ J R 北海道の人材確保に対する考えと対応方法
- ・鉄道旅客需要拡大に結びつく新たな動きに対する認識
- ・観光戦略実現に向けた国への支援要請の必要性に対する見解
- ・緊急的・臨時的な地域独自支援に係る地域との協議方法
- ・ J R 北海道の経営改善姿勢に対する認識と J R 北海道への申し入れの必要性に対する見解
- ・国への提言時期
- ・オール北海道で取り組む必要性に対する所見
- ・鉄道網の確立に向けた提案の取りまとめに係る基本的な考え方
- ・ J R 貨物が担っている道内と道外を結ぶ鉄道貨物輸送ネットワークの現状
- ・鉄道貨物輸送の役割と輸送製品の内容
- ・片荷輸送などの課題への対応
- ・鉄道貨物輸送の代替の可能性と課題及び経済的な影響と 1 次産品競争力への影響
- ・二酸化炭素の排出抑制と鉄道輸送の関連
- ・輸送手段別の労働生産性における鉄道輸送の位置づけ
- ・鉄道輸送に係る今後の対応
- ・物流対策を進める体制のあり方に対する考え
- ・新千歳空港の地上支援業務に係る人材確保の状況と緊急対策を行う必要性
- ・新千歳空港における人材確保に向けた今後の対応
- ・空港アクセス分析に係る具体的な調査内容と狙い及び調査を行う必要性と成果の利用方法
- ・新千歳空港の機能強化に向けた今後の取り組み

等について

山根 理広委員（民主） から、

- 1 総合交通ネットワークについて
 - ・シームレス交通の確立に対する所見
 - ・日本版 M a a S の実現に向けた十勝モデルの

成功と今後の取り組み

- ・札幌圏での実証実験の必要性に対する所見
- ・北海道新幹線のトンネル発生土に係る具体的な対応状況と今後の取り組み
- ・JR問題における赤茶5線区に対する所見
- ・道としての基本的な考え方の内容
- ・JR北海道の長期経営ビジョン等の進捗状況の把握方法
- ・道の交通部局の体制強化に対する所見
- ・苫小牧港に寄港予定の北極海航路を利用した貨物船の内容と寄港の意義
- ・北極海航路の利用拡大に向けた取り組み

2 被災地におけるコミュニティ施設の復旧について

- ・道内各地域のコミュニティ活動の推進及び施設整備に対する支援の内容
- ・復旧支援に対する見解

等について

三好 雅委員（自民） から、

1 ICT技術の利活用について

- ・北海道ICT利活用推進計画の概要
- ・地域におけるICT技術の実装を進める取り組みと成果
- ・Society5.0の実現に向けた国の取り組み
- ・Society5.0がもたらす影響や効果に対する認識
- ・今後の取り組み

2 ほっかいどう応援団会議について

- ・ほっかいどう応援セミナーの目的と内容及び参加企業等の状況
- ・プレゼンテーションの実施内容と参加者の反応
- ・ポータルサイトの掲載内容と市町村の利用状況
- ・モネ社との連携協定内容と今後の展開
- ・今後の取り組み

3 過疎法改正について

- ・道内過疎地域の現状と課題に対する認識
- ・過疎対策事業債の発行状況と活用状況
- ・過疎法失効後の新たな対応策に向けた国の検討状況と他府県の検討状況
- ・これまでの取り組みと今後の対応

4 離島航路について

- ・特定有人国境離島地域航路運賃低廉化事業の

趣旨と活用に伴う環境変化

- ・JR北海道が消費税増税以上に値上げすることによる離島航路運賃への影響
- ・特定有人国境離島地域航路運賃低廉化事業に係る今後の対応

等について

池端 英昭委員（民主） から、

1 関係人口創出・拡大モデル事業について

- ・事業実施の効果と検証結果及び継続性に係る見解
- ・事業パターンの選定理由
- ・北海道型ワーケーション導入の考え方
- ・今後の展開

2 次期北海道創生総合戦略について

- ・現行戦略の取り組み効果に対する認識と課題の整理状況
- ・人口減少の将来予測に対する危機的状況に係る道民の認識と将来予測の周知方法に対する見解
- ・新たな成長の内容
- ・市町村総合戦略の推進上の課題認識と次期戦略への反映方法及び先駆性ある施策の想定
- ・道民に対するメッセージの内容と発信方法
- ・次期戦略における定住及び移住促進方法
- ・人口減少下における持続可能なまちづくりの具体像と将来に向けた北海道のあり方に対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼交通企画監、地域振興監、政策局長、情報統計局長、地域創生局長、地域振興局長、交通政策局長、航空局長、交通政策局次長、交通政策局交通・物流連携担当局長兼交通企画課交通・物流担当課長、交通政策局新幹線推進室長、航空局新千歳空港周辺対策担当局長、情報政策課長兼地域情報化担当課長、地域戦略課長兼空港運営戦略推進室参事、地域戦略課地域創生担当課長、地域戦略課移住交流担当課長、市町村課財政・公営企業担当課長、地域政策課長、交通企画課長、交通企画課鉄道交通担当課長、交通企画課鉄道支援担当課長、新幹線推進室参事、航空課長兼空港運営戦略推進室参事及び航空課新千歳空港周辺対策担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月1日（火）

開議 午前10時1分

閉会 午後4時23分

第1委員会室

第1分科委員長

清水 拓也（自民）

① **総合政策部所管に対する質疑**を続行し、

滝口 直人委員（自民）から、

- 1 ロシアとの地域間交流について
 - ・ロシア極東地域との交流に係るこれまでの取り組みと成果
 - ・欧露部との交流に係る課題と今後の成果
 - ・今後の進め方
- 2 道政広報広聴について
 - ・インターネットを活用した広報活動に係る今後の対応
 - ・インターネットを活用した広聴活動に対する見解
 - ・紙媒体などを活用した広報活動に対する見解
 - ・今後の取り組み

等について

滝口 信喜委員（結志）から、

- 1 外国人との共生について
 - ・道内在住外国人の状況と道内における人手不足の状況
 - ・外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向に基づく施策の取り組み状況
 - ・北海道外国人相談センターにおける相談状況と相談後の対応及び札幌市が開設する予定の外国人相談センターとの役割分担
 - ・北海道外国人相談センターと地域の関係機関との連携
 - ・地域における日本語教育の提供機会への対応
 - ・災害時の外国人対応に係る取り組み
 - ・外国人の誘導方法
 - ・庁内の体制整備に向けた認識
 - ・国際関連施策の総合的な推進に向けた今後の取り組み

等について

佐藤 禎洋委員（自民）から、

- 1 洋上風力発電について
 - ・固定資産税に係る協議のスケジュール
 - ・類似事例等の情報提供時期
 - ・固定資産税額決定時に関係市町村が合意に至らない場合における道の役割
 - ・2022年春の稼働時に調停が調わない場合の課題

等について

中野渡 志穂委員（公明）から、

- 1 政策評価について

- ・制度のこれまでの見直し状況
 - ・評価の実施方法と結果の活用方法
 - ・新たな第三者委員会の設置に対する所見
- 2 北海道立総合研究機構について
 - ・戦略研究の最終年次における成果の見込み
 - ・地域に関する研究成果の普及
 - ・日本海地域における研究成果の将来的な活用と支援方法
 - ・研究開発の進め方
 - ・研究評価への対応
 - ・中期目標案における数値目標設定の考え方
 - 3 被災地の復興支援について
 - ・胆振東部地震の被災3町における復興計画の策定状況
 - ・地域創生に向けた取り組みに対する所見
 - ・復興計画の実現に向けた支援方法
 - ・カムイサウルス・ジャポニクススの活用による地域活性化に対する所見

等について

藤川 雅司委員（民主）から、

- 1 ほっかいどう応援団会議について
 - ・資金面での応援に係る所見
 - ・ふるさと納税の獲得に向けたこれまでの取り組みと応援団会議を契機とした取り組みへの考え
 - ・応援団会議に参画する企業等の応援意向の把握方法と市町村等への周知方法
 - ・今後の運営方法

等について

新沼 透委員（結志）から、

- 1 交通政策について
 - ・トライアル運航実施路線に係る選定の背景や目的及び事業の内容
 - ・利用者の想定
 - ・紋別側出発便に係る利用目的
 - ・トライアル運行の今後の展開
 - ・日高線における地域の判断に対する受けとめと認識及び道の今後の役割と地域とのかかわり方
 - ・検討の方向性の内容と地方財政措置に対する認識及び国との協議状況
 - ・維持困難線区の維持に係る地方負担に対する認識
 - ・物流網の確立に向けた対応状況
 - ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼交通企画監、地域振興監、総合政策部次長、地域創生局長、地域振興局長、交通政策局長、航空局長、交通政策局次長、政策局研究法人室長、地域創生局胆振東部地震災害復興支援室長、交通政策局交通・物流連携担当局長兼交通企画課交通・物流担当課長、広報広聴課長、広報広聴課広報担当課長、計画推進課長、政策局研究法人室参事、国際課長、国際課ロシア担当課長、地域戦略課長兼空港運営戦略推進室参事、胆振東部地震災害復興支援室参事、市町村課長、地域政策課長、交通企画課鉄道交通担当課長及び航空課航空企画担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

滝口 直人委員（自民） から、

- 1 知事公邸のあり方について
 - ・求められる機能とその機能の今後の必要性
 - ・必要な公邸の規模
 - ・居住区域の検討に係る見解
 - ・居住区域外のエリアの位置づけと意義
 - ・今後の検討
- 2 泊地域の原子力防災対策について
 - ・自然災害と原子力災害が複合的に発生した場合における住民の避難方法
 - ・原子力防災計画の実効性向上のための取り組み
 - ・今年度の原子力防災訓練の内容
 - ・原子力災害時における観光客への対応
 - ・今後の取り組み

等について

池端 英昭委員（民主） から、

- 1 行財政運営について
 - ・質の行政改革の具体的な取り組みの進捗状況
 - ・行政改革の大胆な見直しに対する見解
 - ・平成28年度からの取り組みによる歳出削減効果と令和2年度の見込み
 - ・手法の見直しに対する見解
 - ・平成28年度からの遊休資産等の売却や貸し付けによる効果額
 - ・遊休資産の活用に係る今後の取り組み
 - ・道の未利用地の状況とこれまでの活用方法
 - ・地方交付税等の確保に係る取り組み
 - ・確実な財務体質の改善に対する見解
 - ・行財政運営方針の見直しに対する見解

等について

佐藤 禎洋委員（自民） から、

- 1 防災対策について
 - ・胆振東部地震における燃料供給に係る対応と課題
 - ・平常時における今後の取り組み
 - ・日本海溝・千島海溝型地震に関する地震防災戦略に係る国の対応状況
 - ・これまでの地震・津波対策の取り組み状況
 - ・道の太平洋沿岸津波浸水予想図作成に係る考え方と前提条件及び国の浸水予想図作成の必要性
 - ・巨大地震を想定した津波防災に向けた今後の取り組み
 - ・高校生サミットの開催結果に対する受けとめ
 - ・道における防災教育の現状
 - ・今後の防災教育の充実に向けた検討

等について

藤川 雅司委員（民主） から、

- 1 知事公邸区域における今後のあり方について
 - ・現在の活用状況
 - ・課題の認識
 - ・職員用宿舎等の老朽化を踏まえた対応方法
 - ・今後のあり方に対する所見

等について

滝口 信喜委員（結志） から、

- 1 職員の採用状況等について
 - ・近年の採用の辞退率が高い状況に対する認識
 - ・辞退率が高い要因や理由
 - ・採用3年以内の職員の中途退職の状況と理由
 - ・2040年問題を見据えた今後の体制のあり方
 - ・地域を限定した採用に対する認識
 - ・就職氷河期世代を対象とする採用試験の実施
 - ・就職氷河期世代に特化した採用試験の導入
 - ・行財政運営方針に基づく職員数と定数条例に定める職員数の差異
 - ・胆振東部地震における道の体制強化の状況と国や市町村等への職員派遣の現状
 - ・職員数の見直しに対する見解
 - ・今後の行財政運営
- 2 職員の働き方改革について
 - ・直近3年間で720時間を超える時間外勤務を行った職員数と時間外勤務の縮減や勤務状況の把握方法
 - ・年休の取得状況
 - ・13日以上年休取得が達成できない要因
- 3 会計年度任用職員について

- ・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案の概要と狙い
 - ・適用される服務規程
 - ・官製ワーキングブアに対するこれまでの対応状況と今回の条例改正により改善される非正規職員の勤務条件
 - ・勤務形態の選択
 - ・国による財政支援とその見通し
- 4 職員の健康管理について
- ・現在の状況
 - ・精神疾患による療養者の対策状況
 - ・がん治療を行っている職員に対する対応と就労支援
 - ・改正健康増進法等による喫煙所の設置に対する見解
 - ・北海道受動喫煙防止条例に基づく率先行動に対する認識
 - ・喫煙対策の取り組み状況と今後の対応
 - ・道職員の喫煙率
 - ・先進的な受動喫煙対策に係る他県の状況
 - ・3次被害に係る認識と対策
 - ・本庁喫煙所における設置経過と利用状況及び維持管理費用の状況
 - ・清掃員の受動喫煙に対する認識

等について

中野渡 志穂委員（公明）から、

- 1 防災対策について
- ・胆振東部地震災害検証委員会からの提言に対する対応の進捗状況及びデマ情報等に関する提言に対する取り組み状況
 - ・スマートフォン等の充電対策
 - ・本庁と振興局の非常用発電機の設置状況と燃料の備蓄状況及び未整備の振興局における今後の整備に向けた取り組み
 - ・道の業務継続計画の見直し状況
 - ・市町村役場の非常用発電機の設置状況と72時間分の燃料の備蓄状況及び整備に向けた取り組み
 - ・市町村の業務継続計画の策定状況と受援マニュアル等の整備状況
 - ・市町村の非常時優先業務の策定や受援計画の策定に対する道の取り組み
 - ・医療機関における非常用発電機の設置状況及

- び未整備の医療機関に対する電源確保に向けた取り組み
 - ・全道の指定避難所数と非常用電源の設置状況
 - ・北海道防災総合訓練等における提言内容の反映状況
 - ・提言に係る今後の推進方法
 - ・台風15号により千葉県で発生した大規模停電に対する認識
 - ・道内における鉄塔の数と強度
 - ・台風等の通過が予想される場合の北海道電力の対応
 - ・道と北海道電力との連絡体制の状況
 - ・大規模停電に対する備え
- 2 私立高校生への修学支援について
- ・私学の意義と役割に対する認識及び私学助成の目的
 - ・道内私立高校及び私立高校生の割合と近年の生徒数の推移
 - ・費用の公私間格差の状況
 - ・国の就学支援金制度と道の授業料軽減補助制度の概要及び平成30年度の道内全日制私立高校における制度別支給区分ごとの人数と割合
 - ・奨学のための給付金制度の概要及び平成30年度の支給実績
 - ・授業料の滞納者や中途退学者の推移
 - ・修学支援策のさらなる充実に対する見解
 - ・国の制度拡充に伴い不要となる財源を活用することに対する所見
- 3 北方領土返還要求運動について
- ・SNSの活用状況
 - ・道内の中高生を対象とする根室管内訪問事業の成果と課題
 - ・北方領土サポーターの募集と活動状況及びサポーターとして定着していくための取り組み
 - ・後継者育成の今後の取り組み
- 4 山岳遭難対策について
- ・先進的なツールやシステムの導入状況
- 等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、職員監、危機管理監、総務部次長兼行政改革局長、人事局長、財政局長、法務・法人局長兼大学法人室長、危機対策局長、危機対策局原子力安全対策担当局長、北方領土対策本部北方領土対策局長、総務課長、総務課財産活用担当課長、行政改革課長、人事課長、人事課給与服務担当課長、人事課職員制度室長兼職員厚生課厚生制度室長、職員厚生課長、財政課長、財政課資金担当課長、学事課長、危機対策課長、危機対策課防

災教育担当課長、原子力安全対策課長及び北方領土対策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分科会

○ 9 月 25 日 (水) 開会 午後 5 時 9 分
散会 午後 5 時 17 分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
畠山 みのり (民主)

- ① 分科委員長に畠山みのり委員 (民主)、分科副委員長に安住太伸委員 (自民) を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、浅野貴博委員 (自民)、笠木薫委員 (民主)、白川祥二委員 (結志)、森成之委員 (公明) を選出。

○ 9 月 27 日 (金) 開議 午前 10 時 2 分
散会 午後 4 時 56 分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
畠山 みのり (民主)

- ① **建設部所管に対する質疑**に入り、
安住 太伸委員 (自民) から、
 - 1 無電柱化について
 - ・ 停電等災害を防ぐための無電柱化に対する認識
 - ・ 国が実施した緊急点検の概要及び道道における電柱倒壊の危険度が高い緊急輸送道路のキロ数
 - ・ 緊急点検の結果により無電柱化される緊急輸送道路のキロ数
 - ・ 緊急輸送道路以外に無電柱化が必要となる道路とその延長キロ数
 - ・ 無電柱化が進まない理由
 - ・ 無電柱化を進めるための道独自の対応と現在

の取り組み状況

- ・ アイデア及び新技術に係る公募等の状況
 - ・ 今後の道の取り組み
- 2 道営住宅の整備及び活用について
 - ・ 道営住宅整備活用方針における課題認識及び道営住宅整備に向けた取り組み方針
 - ・ 地域の新たな住宅ニーズに対応した道営住宅の整備に係る課題及び広域再編型整備に対する考え
 - ・ 民間事業者と連携した道営住宅整備に係る他県の事例を踏まえた課題
 - ・ さまざまな課題を踏まえた道営住宅整備活用方針の見直し方針

等について

笠木 薫委員 (民主) から、

- 1 自転車活用の推進に向けた整備について
 - ・ 道道における自転車専用道路等の整備状況
 - ・ 全道の自転車ネットワーク計画策定状況と道のかかわり方
 - ・ 整備に向けた具体的な見解
- 2 道営住宅高層階への灯油の運搬について
 - ・ エレベーターが設置されていない中高層の住宅の状況
 - ・ オイルサーバーが設置されていない住宅の状況
 - ・ 今後の取り組み

等について

真下 紀子委員 (共産) から、

- 1 公共土木施設の長寿命化等について
 - ・ 建設後 50 年を経過した橋梁の現状と 10 年後の見直し
 - ・ 通行止めの橋梁の状況
 - ・ 長寿命化の取り組み状況と維持管理予算の推移
 - ・ 市町村に対する技術・体制面における道の支援の取り組み
 - ・ 今後の公共施設の老朽化対策
- 2 道営住宅の役割等について
 - ・ バリアフリー化の計画内容と現状の課題への認識
 - ・ 今後のバリアフリー化促進の取り組み内容
 - ・ 被災時や障がい者の在宅生活促進などにおける道営住宅の役割とこれまでの対応状況

- ・胆振東部地震被災地復興に向けた住宅確保の取り組み
- 3 旧開発道路の見直しについて
 - ・旧開発道路のこれまでの計画変更内容と予算増額の推移
 - ・今後の見通し
 - ・事業再評価と比較した費用対効果と通行量の変化の状況
 - ・旧開発道路の事業中止や見直しによる予算縮減の状況
 - ・富良野上川線の通行できた期間
 - ・完成までの見通しと中止を含めた事業見直しに対する考え
 - 4 建築物等の維持保全・災害対策について
 - ・確認申請が必要な工作物の内容
 - ・特定行政庁としての道の対応方針
 - ・特定行政庁としての合同パトロールや防災査察の重点項目及び対象建築物の内容
 - ・劣化工作物への取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建築企画監、建設政策局長、土木局長、まちづくり局長、住宅局長、道路課長、道路課高速道・市町村道担当課長、都市環境課長、建築指導課長、建築指導課建築安全担当課長、住宅課長及び住宅課住宅管理担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

② 水産林務部所管に対する質疑に入り、

村田 光成委員（自民）から、

- 1 ホタテガイの生産について
 - ・オホーツク海海域での生産安定に向けた取り組みと生産状況の推移とことしの見通し
 - ・噴火湾における生産安定に向けた取り組みと生産状況の推移
 - ・ことし採苗した稚貝の状況
 - ・飼育調査の概要や進捗状況
 - ・これまでの調査結果の対応と今後の対応の考え
 - ・安定供給に向けた今後の取り組みへの考え
- 2 漁船リース事業について
 - ・事業概要と各年度の予算状況
 - ・本道における事業の状況
 - ・漁船リース事業に係る漁業近代化資金の活用状況
 - ・新リース事業の概要
 - ・全道漁業協同組合長会議等からの要請に対す

る道の対応の考え

- ・浜の活力再生に向けた道の取り組みへの考え

3 林業イノベーションの推進について

- ・スマート林業の取り組み内容
- ・スマート林業を進める上での課題と道の取り組み
- ・道の森林資源の管理に向けた取り組みの考え
- ・木材生産現場における生産性の向上などに向けた取り組みの考え
- ・造林分野における省力化などに向けた取り組みの考え
- ・林業イノベーションの実現に向けた取り組みの考え

等について

笠木 薫委員（民主）から、

1 北の森づくり専門学院について

- ・校舎整備の考え
- ・入学者の確保に向けたこれまでの取り組みと今後の取り組みの考え
- ・北海道らしい魅力あるカリキュラム構築の考え
- ・就学環境整備に向けた取り組みの考え
- ・今後の取り組み

2 公共施設における道産木材の利用推進について

- ・本道の公共施設における木造化の現状
- ・公共施設の木造化・木質化の今後の道の取り組み

等について

浅野 貴博委員（自民）から、

1 漁業振興について

- ・レジャー船によるクロマグロ漁の現状把握と認識
- ・レジャー船によるクロマグロ漁に対する規制の必要性の認識と今後の取り組み
- ・密漁防止に向けた取り組み強化の必要性の認識と取り組み

等について

小岩 均委員（民主）から、

1 漁業にかかわる外国人技能実習について

- ・漁業現場における受け入れ実習生の状況
- ・実習生に対する法令違反の現状把握及び指導や防止策などの対策

等について

白川 祥二委員（結志）から、

- 1 道東における水産業について
 - ・ 昨年の根室市の水揚げ量及び金額とその道内順位の10年前との比較
 - ・ 北太平洋公海で行った公海サンマ漁の漁獲量と試験操業だった昨年との比較及び道東沖サンマ漁の花咲港での水揚げ量と昨年との比較
 - ・ 記録的不漁の原因
 - ・ 漁業者や加工業者からの不漁に対する声の受けとめと今後の対応
 - ・ 育てる漁業の推進に向けた取り組みの必要性への部長の見解
- 2 商業捕鯨について
 - ・ 捕鯨産業の将来像への道の所見
 - ・ 鯨肉の消費拡大に向けた部長の所見

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 水産資源管理と先住民族の伝統的漁法の伝承について
 - ・ 申請がないサケの採捕を道が告発した経緯
 - ・ 規則等の見直しの必要性
 - ・ アイヌ新法に対する部の認識と先住民族の伝統的サケ採捕の伝承への配慮に対する部としての見解
- 2 放射能汚染水の水産環境への影響等について
 - ・ 調査実施と結果公表に方針転換した理由と調査結果の推移
 - ・ 海水や水産物の放射能汚染の危険性についての認識
 - ・ 海に放出して希釈するしか方法がないとする前環境大臣の発言に対する道の受けとめと対応
 - ・ 海洋放出に係る被害の分析等の実施と漁業者からの意見聴取の有無
 - ・ トリチウム放出の把握と海洋環境や水産物への影響に対する見解
 - ・ 過去の放射能汚染水の水産環境への再放出は許されるべきではないとする答弁への現在の見解と国が海洋放出に言及した場合の部長の見解

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長、林務局長、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課企画調整担当課長、水産経営課長、水産経営課水産食品担当課長、水産振興課長、水産振興課首席普及指導員、漁業管理課長、漁業管理課サケマス・内水面担当課長、林業木材課長、林業木材課林業振興担当課長、林業木材課人材育成担当課長、森林計画課長及び森林整備課長から答弁があつて、

総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

③ **農政部所管に対する質疑**に入り、
浅野 貴博委員（自民） から、

- 1 日米貿易交渉について
 - ・ 今回の日米貿易協定への合意に対する道の受けとめ
 - ・ 農産物や畜産物への影響に対する考えと対応方向
 - ・ 今回の合意内容を踏まえた道産農畜産物の輸出拡大に向けた取り組み方針
 - ・ 本道への影響試算に係る対応
 - ・ 今後の対応方針
- 2 米政策について
 - ・ 主食用米と加工用米などの用途別の面積の状況
 - ・ 令和元年産米における生産の目安の設定に当たったの考え
 - ・ 生産の目安を踏まえた本年産水稲の作付動向
 - ・ 来年産の生産の目安の設定に向けた道の考え
 - ・ 稲作経営の安定化及び稲作農業の持続的な発展に向けた道の取り組み
- 3 豚コレラ対策について
 - ・ 豚コレラの概要及び豚コレラに感染した豚肉を人が摂取した場合の影響
 - ・ 感染拡大要因となる野生イノシシの生息状況及び感染を媒介すると考えられる他の野生動物
 - ・ ワクチン接種に向けた国の具体的な対応及び接種対象の有無
 - ・ 豚コレラ感染確認以降の国産豚肉の価格の推移
 - ・ ワクチン接種地域における接種豚の取り扱い及び道の今後の対応に向けた考え
 - ・ 非清浄国に格下げされた場合の豚肉の輸出への影響に対する考え
 - ・ 養豚農家の生産振興対策に対する取り組み方針

等について

笠木 薫委員（民主） から、

- 1 農業農村整備事業とパワーアップ事業の推進について
 - ・ パワーアップ事業による農家負担軽減に対する認識

- ・パワーアップ事業の実績と成果
 - ・令和2年度に向けた新規採択要望地区数
 - ・今後の農業農村整備事業の進め方
- 2 日米貿易交渉について
- ・道が把握している合意の内容
 - ・概要に基づいた影響試算に対する考え
 - ・飼料用トウモロコシの追加輸入による道の飼料生産への影響
 - ・道が政府の答弁と同じ見解である理由
 - ・日米貿易協定発効後の今後の対応
- 3 豚コレラの対策について
- ・ワクチン接種を地域限定で行うリスクに対する道の認識
 - ・他国からの輸入制限などの懸念への見解

等について

安住 太伸委員（自民） から、

- 1 産業用ヘンプについて
- ・北海道産業用大麻可能性検討会の設置主体
 - ・検討会の座長の発言内容に対する所見
 - ・検討会における提案内容
 - ・検討会の意志として無毒化された種子の利活用を国に働きかける考えに対する認識
 - ・THCの検査体制の確立と体制整備に向けた相談体制を北海道薬剤師会公衆衛生検査センターと開始することの必要性への所見
 - ・野生大麻の調査や分析の結果
 - ・調査結果がEUの栽培及び利活用に当たっての基準と比べて著しく低いことへの所見
 - ・道民理解を得るための見解

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 農業にかかわる外国人技能実習について
- ・農業現場における受け入れ実習生の実態と現状
 - ・実習生に対する法令違反の現状把握及び指導や防止策などの対策
- 2 ホッカイドウ競馬について
- ・地方競馬特別会計の過去から現在までの収支の推移
 - ・収支が改善した要因
 - ・ギャンブル依存症対策に対する見解
 - ・ギャンブル依存症に対する具体的な対応や取り組み内容
 - ・具体的な相談内容
 - ・ギャンブル依存症に対する受けとめと今後の

対応

- ・外国人厩務員に対する対応及び取り組み状況と厩務員の育成確保に向けた今後の対応
- ・発売額の維持向上に向けた今後の取り組み
- ・馬産地の生産振興に向けた今後の取り組み

等について

村田 光成委員（自民） から、

- 1 農畜産物と物流について
- ・本道で生産される農畜産物の道外への出荷量
 - ・道外出荷に係る輸送手段別の割合及び主要品目に係る輸送手段の選択方法
 - ・道外輸送に当たっての課題
 - ・鉄道輸送の特性を踏まえた位置づけと認識
 - ・農業団体が表明しているJR貨物輸送への課題や懸念などに対する道の受けとめ及び今後の対応方針
- 2 スマート農業について
- ・道内における技術の導入状況
 - ・経営形態別の今後想定される具体的な技術導入
 - ・国が実施する実証事業の道内での実施内容
 - ・国の実証事業の未採択地域に対する道の対応状況
 - ・スマート農業推進方針の策定に向けた考え方
 - ・導入に当たっての課題の認識と今後の取り組み
- 3 アライグマ対策について
- ・本道における農業被害の推移と被害防止に向けたこれまでの取り組み状況
 - ・これまでの取り組みの効果と課題に対する認識
 - ・市町村や農業者からの要望内容と道の対応状況
 - ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、競馬事業室長、生産振興局技術支援担当局長、農政課政策調整担当課長、競馬事業室参事、食品政策課長、食品政策課6次産業化担当課長、農産振興課長、農産振興課水田担当課長、畜産振興課長、畜産振興課環境飼料担当課長、畜産振興課家畜衛生担当課長、技術普及課長、技術普及課農業環境担当課長、農業経営課長、農村設計課長及び農村計画課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○9月30日（月） 開議 午後1時3分

散会 午後 5 時43分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
畠山 みのり (民主)

① 農政部所管に対する質疑を続行し、

白川 祥二委員 (結志) から、

- 1 スマート農業について
 - ・超高速ブロードバンドの環境整備の必要性に対する所見
 - ・超高速ブロードバンドの整備率と整備が進まない理由
 - ・超高速ブロードバンドの整備促進に向けた部長の見解
- 2 家畜伝染病について
 - ・野生イノシシ対策を強化するよう国に対して強く働きかけるべきとの考えに対する所見
 - ・国内における違法な肉製品の取り締まり体制
 - ・豚コレラワクチン接種への課題の認識状況
 - ・豚流行性下痢ウイルスの型に対する認識
 - ・アフリカ豚コレラの侵入に対する道の考え
 - ・水際対策をより拡充強化することに対する部長の見解
- 3 日米貿易交渉について
 - ・今回の最終合意の道の受けとめ
 - ・将来にわたる農業経営の安定対策に対する部長の所見

等について

真下 紀子委員 (共産) から、

- 1 農業の担い手確保対策について
 - ・農業耕地面積と農業集落の推移及び本道の食料自給率の1990年から2019年の推移
 - ・農家戸数と農業就業人口及び年齢別就業率の1990年から2019年の推移
 - ・個人でも利用できる補助事業の数
 - ・農業次世代人材投資事業の道内における交付実績と予算減額により不利益を受けた新規就業者の有無
 - ・国に対して要望どおりの配分を求めるための道の対応
 - ・研修先の見直しによる影響と今後の対応
 - ・小規模農家に対する補助事業の実績と担い手対策への反映などの今後の取り組み
- 2 農産物加工への支援について
 - ・中小チーズ工房の後継者調査の結果

- ・道産チーズ基盤強化対策事業の展開内容及び事業を承継する場合の課題と可能性
 - ・2年間で得られる成果の内容
 - ・成果に結びつけていくための取り組みの考え
- 3 日米貿易協定等自由貿易の拡大に伴う影響等について

- ・日米貿易協定による道内農業への影響
- ・影響試算の実施の有無
- ・自由貿易の拡大に対する法人化や大規模化された農業経営での対応の可否と日米貿易協定として改めて問題点を検証することへの見解等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、農政課長、農政課政策調整担当課長、畜産振興課長、畜産振興課家畜衛生担当課長、農業経営課長及び農村計画課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

笠井 龍司委員 (自民) から、

- 1 統合型リゾート施設について
 - ・I R導入の意義及び期待される効果
 - ・北海道型I Rの具体的なイメージ
 - ・中核施設の規模等に係る基準に対する受けとめ及びI R事業者からの提案との基準への合致状況
 - ・来訪者の海外・国内・道内の割合及び想定する客層並びに集客に必要なとなるコンセプトの内容
 - ・苫小牧市と釧路市と留寿都村を比較検討した手順及び経緯並びに苫小牧市を優先候補地とした理由
 - ・優先候補地に誘致する場合の課題
 - ・国の社会的影響対策に対する認識及び道独自の対策の必要性
 - ・カジノ納付金等の活用方法及び立地市町村等への配分に対する考え
 - ・国の基本方針の位置づけと成案化の時期
 - ・道民意向の把握に係る対象者を2500人とした理由及びその選定方法
 - ・グループインタビューの1回当たりの参加者数及びその回数
 - ・グループインタビューによる意向把握の信頼性及び参加できない道民への対応方法
 - ・外国人等に対するヒアリングの実施方法

- ・道民意向の見きわめ時期
- 2 法定外目的税について
 - ・宿泊税等を検討している市町村の考え方
 - ・観光事業者から寄せられている意見の内容
 - ・市長会及び町村会と行う検討協議の具体的な進め方
 - ・道の具体的なイメージ構築に向けた重点的な検討内容
 - ・市町村との調整に対する今後の対応
 - 3 高等技術専門学院について
 - ・現状の定員充足率に対する認識及び対応方法
 - ・既卒者の入校促進に向けた本年度の取り組み内容
 - ・今後の運営方法

等について

笠木 薫委員（民主）から、

- 1 消費税増税に伴う経済対策について
 - ・増税後の道としての対策
 - ・軽減税率対応レジの導入状況及び未導入事業者の対応状況の把握と道民周知を含めた対策
 - ・軽減税率導入後の対策
 - ・キャッシュレスカード利用者数とポイント還元政策の見解及びキャッシュレス化対応できない事業者に対する対策
- 2 幌延深地層研究センターへの対応について
 - ・確認会議における今後の流れ
 - ・第3期中長期計画の記載事項に対し計画変更案で言及されていないことに対する道の見解及び計画変更の差し戻し撤回の上再度出させる考えに対する道の見解
 - ・確認会議における研究計画の確認内容
- 3 日韓政府関係悪化に伴う影響と対策について
 - ・道内の観光等への影響
 - ・今後の具体的な対策

等について

村田 光成委員（自民）から、

- 1 エネルギー政策について
 - ・エネルギー施策懇話会での議論の重点内容
 - ・再生可能エネルギーの系統接続に当たっての課題
 - ・大規模風力発電の系統接続問題の受けとめと解消に向けた対応
 - ・自然エネルギーを利用する場合の送電線以外のルート必要性
 - ・再生可能エネルギーの水素化を進めることの

メリット

- ・水素エネルギーの利用が進んでいない要因や課題と解決に向けた取り組み
 - ・エネルギーの輸送手段としての水素化合物の利用促進の考え方
 - ・再生可能エネルギーの利用促進における水素の位置づけと水素社会実現戦略ビジョンの見直しの可能性も含めた見解
- 2 自動運転について
 - ・道の基本的な考え方
 - ・自動運転の取り組み促進に向けた企業等の相談に一括対応するワンストップ窓口における相談件数や内容などの実績
 - ・自動車メーカーなどのテストコースを生かした取り組み状況
 - ・国内初の大規模トラックによる自動運転の実証実験の具体的な内容
 - ・社会的課題解決に向けた自動運転技術普及を図るための取り組み状況
 - ・技術開発や実用化等に向けた今後の取り組み
 - 3 アドベンチャートラベルワールドサミットについて
 - ・アドベンチャートラベルの旅行形態及び観光振興施策における評価と位置づけ
 - ・アドベンチャートラベルワールドサミット2021の内容と効果、開催誘致に向けた体制と検討内容
 - ・アドベンチャートラベルワールドサミット2019における活動内容と成果
 - ・誘客を図る上での課題及び今後の取り組み

等について

小岩 均委員（民主）から、

- 1 外国人技能実習制度について
 - ・平成30年外国人技能実習制度に係る受け入れ状況調査結果の認識
 - ・来年度の調査項目を実習生の実態把握ができるよう充実させる考えへの見解
 - ・国への要望結果が反映されていない理由
 - ・技能実習法施行後の道内の実習生をめぐる動向
 - ・毎年高い率で法令違反が行われていることに対する部の見解
 - ・高い違反率が続いていることに対する認識
 - ・毎年法令違反が発生していることに対する認識

- ・実習生を受け入れている道内事業者数と抽出調査から外れる事業所での違反の有無
 - ・北海道労働局に再発防止を含めた指導と全事業所への調査を道が要請すべきとの認識に対する道の考え
 - ・北海道外国人相談センターと関係機関との連携状況
- 2 法定外目的税について
 - ・道内16市町村における税目ごとの検討状況
 - ・市長会や町村会との検討協議状況
 - ・導入に対する部の考え方
 - 3 シルバー人材センターについて
 - ・活動内容と役割
 - ・高齢者事業団との違い及び両者未設置地域の実態に対する部の認識
 - ・設置促進への認識
 - ・道からの支援の考え方
 - 4 商工会について
 - ・小規模事業者支援法で制度化された経営発達支援計画の道内商工会の取り組み状況と成果
 - ・小規模事業者支援法の改正案の概要と道の果たす役割
 - ・法改正に対し商工会が対応していくための課題と道の支援内容

等について

浅野 貴博委員（自民） から、

- 1 北海道観光の推進について
 - ・バリアフリー化に対する道の認識
 - ・バリアフリーに係る情報発信に対する認識及び今後の取り組み
 - ・情報発信している民間団体に対しての助成の考え
 - ・バリアフリー化に係る設備投資に対する助成措置の状況及び今後の取り組み
 - ・バリアフリー化に係るソフト面での整備に対する認識及び今後の取り組み
 - ・バリアフリー観光推進に向けた道の認識と今後の取り組み

等について

白川 祥二委員（結志） から、

- 1 働き方改革について
 - ・働き方改革関連法の目的の柱
 - ・これまでの残業時間の上限と法律における残業時間上限の線引きの根拠
 - ・労働者に近い個人事業主への長時間労働に対

する規制の有無と問題点

- ・年休取得を企業に義務づけた背景と取得させない場合の罰則
 - ・正社員と非正規社員の不合理な待遇差是正の具体的な内容
 - ・非正規の方からの賃金や福利厚生などの使用者側への説明要求の可否
 - ・道内各地へのサテライトオフィスの立地促進に向けた取り組みに係る所見
- 2 高齢者労災防止について
 - ・高齢者を労働災害から守るための広報の徹底や支援の促進に向けた見解
 - 3 就職氷河期世代について
 - ・企業合同説明会等の参加状況や就職状況
 - ・就職支援の取組強化の必要性
 - ・国の省庁横断的組織の認識と道における部局横断的組織設置の必要性の見解
 - 4 観光振興について
 - ・観光公害の自治体調査結果
 - ・来道外国人客の目標を500万人に引き上げた際の意見や提言の内容と金澤美術館の取り組みに対する感想
 - ・持続可能な観光の仕組みづくりを進めるに当たっての道の見解
 - ・新たな税源確保策に係る市町村との調整状況及び税導入の判断時期
 - ・総務大臣への同意申請に対する道の見解
 - ・I Rに関するグループインタビューを苫小牧市で実施しない理由
 - ・I Rに関するグループインタビューの信憑性と信頼性を確保する手段
 - ・概要だけではなく道からの説明を含めた全文と第三者の立会人が必要との考えに対する見解
 - ・I R説明冊子の正確さに対する道の見解
 - ・道としてI Rの誘致判断が十分に検討できる申請期間の考え方
 - ・申請期間の2年程度の始期

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、経済部次長、経済企画局長、観光局長、地域経済局長、産業振興局長、労働政策局長、観光局誘客担当局長、産業振興局環境・エネルギー室長、産業振興局環境・エネルギー室次長、労働政策局職業能力担当局長、国際経済室参事、観光局参事、中小企業課長、産業振興課長、環境・エネルギー室参事、雇用労政課就業支援担当課長、雇用労政課働き方改革推進室長、人材育

成課長及び人材育成課職業訓練担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月1日(火) 開議 午前10時2分
散会 午後3時50分
第2委員会室
第2分科委員長
畠山 みのり(民主)

① 経済部所管に対する質疑を続行し、

森 成之委員(公明)から、

- 1 食の輸出拡大戦略について
 - ・2019年上期の食の輸出状況に対する現状認識
 - ・本年上期の増加や減少などの要因を踏まえた輸出拡大に向けた課題の認識
 - ・市場ニーズに適切に対応した今後の取り組み内容
 - ・本道経済における食品製造業の位置づけ
 - ・食関連産業の業界団体の取り組み内容
 - ・業界や関係団体と連携した食品製造業の振興のための道の取り組みの方向性
- 2 エネルギー政策について
 - ・新エネルギーの導入実績と導入拡大に当たっての課題
 - ・風力発電の導入実績
 - ・風力発電の導入拡大に当たっての課題と今後の取り組み
 - ・次期省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の策定に向けた検討の考え方
- 3 高等技術専門学院について
 - ・入校状況や修了生の就職状況
 - ・入校生確保に向けた取り組み内容
 - ・建築業など人手不足が著しい分野の人材育成に対する所見
 - ・高等技術専門学院を活用した今後の人材育成の取り組みの方向性

等について

沖田 清志委員(民主)から、

- 1 苫東開発について
 - ・苫小牧東部開発新計画第3期進め方における新たな取り組み内容
 - ・第2期進め方における未達成項目の主な内容及び実現しなかった理由
 - ・当初計画されていた国家的プロジェクトの状況

- ・開発推進における国の役割に対する所見
 - ・苫東2次買収用地の保有額及び時価額
 - ・土地活用に係る国との協議状況
 - ・早期の土地活用及び処分に向けた今後の対応
- 2 I Rについて
 - ・リゾート法により設置されたレジャー施設等の経営破綻の原因
 - ・リゾート法とI R推進法の違い
 - ・計画の実行性の確保により将来的・持続的に事業が運営されることへの認識
 - ・事業が立ち行かなくなった場合の措置に係る所見
 - ・I R事業者が倒産した場合にI R整備法の規定が遵守されることに係る認識
 - ・I R事業者が倒産した場合に実質的に担保できないことへの認識
 - ・過去に開催された国際会議等の実績を踏まえたM I C E施設の利用見込み
 - ・国際会議の開催件数
 - ・I R事業参入に積極的であったカジノ運営事業者の大手1社が事業参入から撤退した理由
 - ・事業者の撤退理由の把握への見解
 - ・道みずからが把握することへの見解
 - ・北海道観光のくにつくり行動計画におけるI R設置の位置づけ
 - ・I R関連予算と北海道観光のくにつくり行動計画の関係
 - ・I R関連予算の予算化の前に北海道観光のくにつくり行動計画を見直すべきとの考えに対する所見
 - ・観光審議会へ諮問を行わない理由
 - ・十分な合意形成を確保するための地域への対応とI R誘致に係る最終的な責任を道が負うことへの認識

等について

真下 紀子委員(共産)から、

- 1 原子力政策について
 - ・前環境大臣による放射能汚染水放出発言に係るマスコミ調査に対する回答内容及び発言に対する道の認識
 - ・国に対して部が強く抗議することへの認識
 - ・放射能汚染水をタンクで継続して貯蔵管理することを経済産業省に求めることへの認識
 - ・海洋放出の余地を残してはならないとの考えに対する認識

- ・泊発電所におけるトリチウムの放出状況及び今後も放出されることに対する認識
- 2 幌延深地層研究計画の協定見直し等について
- ・日本原子力研究開発機構による研究終了時期の基準の説明内容及び道が納得した根拠
 - ・研究終了に向けて確認した内容
 - ・埋め戻しに係る費用とその方法及び示される時期に対する考え
 - ・埋め戻し時期の確認の有無
 - ・研究終了後に日本原子力研究開発機構が行う原状復帰の方法
 - ・研究期間を延長しないことに対する要請内容
 - ・当初計画の深度まで研究を継続することに係る日本原子力研究開発機構からの説明内容とその認識
 - ・研究終了の基準及び道の確認会議における日本原子力研究開発機構への確認の有無
 - ・研究長期化による事故リスクに係る日本原子力研究開発機構からの説明内容
 - ・幌延町及び周辺6町村における電源立地地域対策交付金等の交付額の累計とその活用用途及び幌延町における原子力立地給付金事業分の交付状況
 - ・深地層研究に係る交付金に頼らない産業振興に向けた取り組み
 - ・研究終了の期限に対する対応
- 3 カジノ誘致等について
- ・過去に開催した道民フォーラムや地域説明会における道民理解への認識
 - ・グループインタビューの参加者の選考方法
 - ・参加者の判断の信頼性への認識
 - ・IR整備法施行令で規定されている欠格条項の内容と必要性及び遊戯施設に係る他の法律における規定の有無
 - ・IR整備法施行令の欠格条項と風営法の欠格条項が異なる理由及び興業場法に欠格条項が規定されていない理由
 - ・ギャンブルが健全な娯楽との認識を改めることへの見解
 - ・IRやカジノにおけるギャンブル依存症の把握方法
 - ・IRによる860万人の訪問者の受け入れ先及びIR事業者におけるギャンブル依存症対策の費用負担を差し引いた収益や安定的財源の見込み並びにIR事業者によるギャンブル依存

症対策への認識

- ・カジノにより生じる問題への対策に係る社会的コストに対する考え及びギャンブル依存症等対策に係る社会的コストの見込みと他の政策への影響並びに他の施策が削減されることへの認識
- ・発生率や対策が必要な人数と費用の把握状況
- ・ギャンブル依存症が重大な社会問題となっていることへの見解

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、経済部次長、食関連産業室長、経済企画局長、観光局長、産業振興局長、産業振興局環境・エネルギー室長、労働政策局職業能力担当局長、食関連産業室参事、観光局参事、産業振興課吉東・石狩担当課長、環境・エネルギー室参事及び人材育成課職業訓練担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、
村田 光成委員（自民） から、

- 1 少人数学級編制について
- ・35人以下の学級編制が行われている小学校1
 - ・2年生への導入の経緯
 - ・小学校3・4年生への順次拡大について実施を検討することとした背景
 - ・新学習指導要領において重点に置かれた内容
 - ・小学校3・4年生が学習を進める上でのつまずきの要因に対する認識
 - ・導入により期待する具体的な効果
 - ・教員定数を確保するための方法
 - ・今後の取り組み
- 2 教員の資質能力の向上について
- ・指導主事への登用手続きの内容と最近の登用状況
 - ・指導主事の職務内容
 - ・行政機関と学校間の異動状況と課題の内容
 - ・教員と指導主事の人事のあり方に対する道教委の認識
 - ・今後の取り組み
- 3 小学校における教科担任制について
- ・検討に至る背景と道内小学校の状況
 - ・国の加配を活用した取り組み状況
 - ・これまでの成果と課題
 - ・今後の取り組み

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 児童虐待と学校現場について
 - ・国が作成した児童虐待の対応策をまとめた手引の内容と道教委のこれまでの取り組み内容
 - ・児童虐待事案の未然防止と早期発見に向けた今後の取り組み
 - ・スクールロイヤーに対する道教委の認識
- 2 北方領土への実地教育について
 - ・北方領土教育の内容
 - ・北方領土の隣接地域における教育旅行や啓発施設を活用した学習の推進に係る今後の取り組み

等について

浅野 貴博委員（自民） から、

- 1 児童虐待の未然防止について
 - ・家庭教育カウンセラー相談事業の相談状況と虐待の相談状況
 - ・身体的虐待の相談と虐待に発展しかねない相談の対応状況
 - ・家庭教育ナビゲーター養成の取り組み内容これまでの養成人数及び具体的な活動状況
 - ・家庭教育サポート企業等制度の内容とこれまでの取り組みの成果や課題及び今後の展開に対する考え
 - ・道内における家庭教育支援チームの状況と課題
 - ・今後の取り組み
- 2 幼児教育推進センターについて
 - ・役割と期待される効果、研修機会等の充実により期待される効果
 - ・幼児教育と小学校教育を円滑に接続にするためのモデル事業の概要と取り組みの進め方
 - ・今後の取り組み

等について

白川 祥二委員（結志） から、

- 1 英語教育について
 - ・小学校教諭のうち中学・高校の英語の教員免許を持つ全国と道内の教諭の割合
 - ・英語の教員免許を持っている小学校教諭が少ない状況に対する道教委の対応
 - ・英語検定試験を受けることに不安を抱える生徒に対する指導方法
 - ・英語検定試験をめぐる一連の動向に対する道教委の受けとめと対応
- 2 義務教育学校について
 - ・義務教育学校と小中一貫校の違い

- ・道民からのさまざまな声に対する道教委の対応
- 3 高等養護学校の教職員住宅について
 - ・現在3カ所ある雨竜高等養護学校の教職員住宅の建築年次と経過年数及び入居率
 - ・入居率が低い理由
 - ・住宅入居者の除雪費負担に対する受けとめ
 - ・今後の教職員住宅の整備に対する道教委の取り組み
 - 4 学校給食調理場について
 - ・道内の単独校調理場と共同調理場の施設数
 - ・築30年以上経過した道内の単独校調理場と共同調理場の施設数
 - ・道内の共同調理場のうちドライシステムを導入できていない施設数
 - ・導入が難しい理由と現在の対応
 - ・高温多湿な環境で調理している現状に対する考え
 - ・老朽化問題の解消に向けた教育長の見解

等について

森 成之委員（公明） から、

- 1 特別支援学校について
 - ・八雲養護学校が移転することとなった経緯
 - ・移転による教育環境の変化に対する道教委の対応
 - ・道立特別支援学校における医療的ケア児の在籍状況
 - ・職員への支援体制の一層の充実に対する道教委の取り組み方針
 - ・今後の取り組み
- 2 夜間中学について
 - ・設置を求める声への受けとめ
 - ・札幌市の設置表明に係る道教委の所見
 - ・今後の取り組み内容
- 3 道立美術館等について
 - ・各施設の開館後の経過年数
 - ・これまでの施設整備の内容及び今後の整備方針
 - ・収蔵庫の狭隘化の現状
 - ・施設の有効活用の方法
 - ・知事公邸周辺エリアの有効活用に係る近代美術館及び三岸好太郎美術館の今後の対応

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 校舎等のアスベスト対策について

- ・道内における文部科学省の調査結果の内容
 - ・調査における点検方法
 - ・劣化・損傷がある保温材及び煙突用断熱材を保有する機関等に対する道教委の対応と到達状況
 - ・使用調査未完了に対する道教委の対応と到達状況
 - ・保護者や近隣住民に対する調査結果の情報提供の状況
 - ・道教委の情報提供に対する責任の認識
 - ・今後の取り組み
- 2 民間英語試験の利用中止等について
- ・民間検定試験の導入に対する考え
 - ・高等学校で実施している授業との具体的な違い
 - ・受験者の経済的負担と受験機会の公平性に対する考え
 - ・出題問題と解答の公開の対応が実施主体で異なることにより公正な判断ができないことに対する道教委の考え
 - ・利用する大学の状況
 - ・受験準備期間等の不安解消に対する道教委の考え
 - ・制度の見直しに対する教育長の見解

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、生涯学習推進局長、学校教育局長、学校教育局指導担当局長、学校教育局特別支援教育担当局長、総務課長、施設課長、教育政策課長、生涯学習課長兼生涯学習推進センター所長、文化財・博物館課長、幼児教育推進センター長、高校教育課長、義務教育課長、義務教育課地域連携担当課長、特別支援教育課長、健康・体育課長及び生徒指導・学校安全課長から答弁があって、教育委員会所管に関する質疑を終結。

予算特別委員会

○10月2日(水) 開議 午前10時6分
閉会 午後5時43分
第1委員会室
委員長 千葉 英守(自民)

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

- ② 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、**笠井 龍司委員(自民)**から、
- 1 日米貿易交渉について
 - ・日米貿易協定発効による影響試算を示す時期及び酪農・畜産業等への影響の軽減や競争力強化に向けた対策
 - 2 水素社会の形成について
 - ・再生可能エネルギーとしての水素利用の有効性に対する認識と活用に係る所見
 - ・北海道水素社会実現戦略ビジョン及びロードマップの見直しに係る所見
 - 3 統合型リゾート施設について
 - ・I Rのメリットに係る具体的見解
 - ・納付金収入の使途に係る所見
 - ・I Rの社会的影響対策に係る見解
 - ・グループインタビュー方式による道民意向把握に係る所見及び他の判断材料の必要性に係る所見
 - ・I R誘致判断の時期に係る所見
 - 4 ロシアとの地域間交流について
 - ・今後の北海道とロシア各地域との交流推進の方向性に係る所見
 - 5 ICTの利活用について
 - ・ICTの利活用に向けた取り組みに係る見解
 - 6 交通政策について
 - ・運用益相当額の確保に向けた四国各県と連携した具体的検討を国に求めることへの見解
 - ・鉄道貨物輸送の維持と北海道新幹線の高速化に係る課題解決に向けた見解
 - ・物流対策を進める庁内体制のあり方に係る所見
 - ・鉄道路線維持に対する基本的な考え及び国への提案に係る見解
 - ・J R北海道の事業範囲見直し問題に北海道全体で取り組んでいくことに係る所見と今後の対応
 - 7 ほっかいどう応援団会議について
 - ・今後の発展に係る見解
 - ・MONET社との協定による成果への期待及び今後の取り組みに係る所見
 - ・地域の課題である医療及び福祉分野への対応に係る所見
 - ・官民連携イメージを実現するための組織体制整備に係る見解

- ・今後の政策展開に係る展望と見通し及び来年度の予算検討に係る所感

等について

藤川 雅司委員（民主） から、

- 1 人権施策について
 - ・北海道人権施策推進基本方針の点検に係るスケジュール及び有識者の意見聴取に係る見解
 - ・教育、啓発の取り組みにおけるインパクトのある発信に係る所見
 - ・現時点での人権施策に対する所感
- 2 児童虐待根絶と子どもの権利保護について
 - ・子どもの権利条約に係るこれまでの具体的な広報活動
 - ・子どもを取り巻く我が国の現状に対する認識及び今後の改善、是正に向けた取り組みに係る所見
- 3 地域医療構想について
 - ・厚生労働省による再検証対象医療機関の公表に係る受けとめ
 - ・地域の意向及び実情を踏まえた対応に係る所見
- 4 ほっかいどう応援団会議について
 - ・官民双方にメリットのある具体的な取り組みとして想定している内容
 - ・企業と市町村のマッチングにつなげる具体的方法
- 5 日米貿易交渉について
 - ・道内農業への影響に係る認識
 - ・本道農業への影響試算及び影響に対する具体的な対応策に係る所見
- 6 知事公邸区域における今後のあり方について
 - ・今後の検討に係る所見

等について

沖田 清志委員（民主） から、

- 1 行財政運営について
 - ・今後の道庁組織のあり方に係る所見
 - ・稼ぐ道政の具体的な取り組みに係る所見
- 2 次期北海道創生総合戦略について
 - ・人手不足及び人口流出等の課題に係る見解
 - ・広域連携の促進など次期北海道創生総合戦略の長期ビジョンに係る認識
- 3 総合交通ネットワークについて
 - ・2年後の法改正に向けた基本的な考え方における5線区の扱いに係る見解
 - ・JR北海道における経営再建に向けた計画の

進捗状況の把握に係る所見

- 4 幌延深地層研究センターへの対応について
 - ・計画の見直し、撤回等に係る所見
 - ・三者協定に基づく確認会議における協定遵守に向けた所見
- 5 法定外目的税について
 - ・導入に向けた決意及びスケジュールに係る所見
 - ・導入に向けた道民意見の集約に係る所見
- 6 I Rについて
 - ・道民理解の促進を目的とした地域説明会及び道民理解促進費の目的に係る所見
 - ・北海道観光のくにつくり行動計画の見直しに係る所見
 - ・道内設置による経済的効果の継続性担保に係る所見

等について

新沼 透委員（結志） から、

- 1 外国人との共生について
 - ・国際関連施策を総合的に推進する組織体制及び推進本部の整備に係る見解
- 2 職員の健康管理について
 - ・改正健康増進法を踏まえた喫煙所の設置に対する見解及び設置、維持管理に係る道費負担に対する見解
- 3 職員の採用状況等について
 - ・行政需要に応じた職員数の増員検討に係る所見
- 4 就職氷河期世代について
 - ・社会政策観点による期間限定の採用試験の実施に係る所見
 - ・就職氷河期世代に対する実効性ある支援の取り組みに係る見解
- 5 日米貿易交渉について
 - ・貿易政策に関する国民への情報提供に係る所見
 - ・本道農業に関する個別具体的な対応策の国への提案及び今後の対応に向けた道内農林水産業への影響額の試算の必要性に係る所見
- 6 観光振興について
 - ・観光振興に係る新たな財源確保策の市町村との調整に係る所見
 - ・I Rに関するグループインタビューの実施方法に係る所見
 - ・I R誘致の判断時期に係る所見

7 交通政策について

- ・地域交通の体系構築における地財措置の位置づけに係る見解と道の考え方を整理することに対する所見
- ・将来にわたる地域負担に対する考え方と今後の国への要請に係る所見

等について

中野渡 志穂委員（公明） から、

1 政策評価について

- ・事業及び組織の見直しにおける政策評価の役割に係る認識
- ・民間の視点を取り入れた新たな政策評価による事務事業の見直しに係る所見

2 私立高校生への修学支援について

- ・公立高校と私立高校における保護者負担額の格差に係る認識
- ・私立高校における保護者負担の実態調査の実施に係る所見
- ・制度改正を踏まえた道による保護者負担の軽減に向けた具体的検討に係る所見
- ・制度改正による道単独事業への影響額の見込み
- ・無償化対象外世帯への支援に係る所見

等について

真下 紀子委員（共産） から、

1 旧開発道路の見直しについて

- ・名寄遠別線における期間延長及び総事業費の増額に係る受けとめ
- ・開発道路の見直しに係るこれまでの経過と効果
- ・富良野上川線の通行状況に係る認識
- ・名寄遠別線に係る認識

2 原子力政策について

- ・前環境大臣による問題発言に係る所見
- ・放射能汚染水の海洋放出及び国への要請に係る見解
- ・北電による放射性物質放出に対する見解

3 幌延深地層研究計画の協定見直し等について

- ・深地層研究計画終了に向けたこれまでの取り組みに係る認識及び当初計画期間で研究が終了しない理由
- ・核燃サイクル機構による研究の更なる延長に係る見解
- ・幌延における研究終了の確認に係る見解
- ・機構に対する研究の終了期限の明示に係る見

解

4 カジノ誘致等について

- ・判断時期の事前報道に係る見解
- ・グループインタビュー等の手法に係る見解
- ・I R 啓発用冊子における記載の正確性及び公正性に係る見解
- ・I R 整備法施行令に規定された欠格事由の内容と規制の意義に係る見解
- ・グループインタビュー参加表明数及び誘致判断の基準

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号ないし第3号を原案のとおり可決することを諮り、異議なく決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

資	料
---	---

第 3 回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第22号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第23号
北海道立文書館条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第24号
北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第25号
母子福祉資金等の償還の免除に関する条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第26号
北海道経済部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第27号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第28号
北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第29号
北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第30号
北海道立学校条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第31号
北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例	元. 10. 4	元. 10. 16	北海道条例第32号

7月の出来事

- 1日 ○日銀が発表した6月の企業短期経済観測調査(短観)は、大企業製造業の最近の景況感を示す業況判断指数(DI)が前回3月調査から5ポイント下落のプラス7となり、2四半期連続で悪化した。米中貿易摩擦や海外経済の減速が響き、2016年9月調査以来2年9カ月ぶりの低水準だった。
- 1日 ○国税庁が相続税や贈与税の算定基準となる2019年分の路線価を公表。全国約32万9千地点(標準宅地)の対前年の変動率は全国平均で1.3%プラスとなり、4年連続で上昇した。後志管内倶知安町山田の道道ニセコ高原比羅夫線通りの上昇率は50.0%と、5年連続で全国一となった。
- 2日 ○英語検定試験「TOEIC」を運営する国際ビジネスコミュニケーション協会は、大学入試センター試験の後継となる大学入学共通テストへのTOEICの参加を取り下げると発表した。「責任を持って対応を進めることが困難」と説明。
- 3日 ○道内7空港の運営を一括で委託する空港民営化で、国土交通省は2次審査の結果、北海道空港(HKK、札幌)、三菱地所、東急急行電鉄、日本政策投資銀行(いずれも東京)を中核とする企業連合を優先交渉権者に選定したと発表した。
- 4日 ○第25回参院選が公示され、370人が立候補を届け出た。21日投開票。
- 9日 ○ハンセン病患者の隔離政策による家族への差別被害を認め、国に損害賠償を命じた熊本地裁判決について、安倍晋三首相は「家族の苦労をこれ以上長引かせない」として控訴しないと表明した。12日には、安倍首相が「政府として深く反省し、心からおわび申し上げる」と謝罪する首相談話を、持ち回り閣議で決定した。政府による家族への公式謝罪は初。
- 10日 ○総務省は、住民基本台帳に基づく人口動態調査を発表。今年1月1日時点の国内の日本人は1億2477万6364人で、前年か
- ら43万3239人減少した。減少幅は過去最大。外国人は16万9543人増の266万7199人。道内は3万9461人減の526万8352人で、21年連続の減少となり、減少数は都道府県別では7年連続で最も多くなった。
- 11日 ○日本の探査機はやぶさ2が、小惑星りゅうぐうで2回目の着陸に成功。
- 15日 ○道警の警察官らが札幌市中央区での安倍首相の参院選街頭演説で、声を上げたりヤジを飛ばしたりした男女2人を現場から引き離し、プラカードを揚げようとした女性らを制止するなどした。専門家は「表現の自由の侵害だ」と批判を強めている。
- 21日 ○第25回参院選が投開票。安倍政権下での憲法改正に前向きな「改憲勢力」は、非改選と合わせ国会発議に必要な3分の2を割り込んだ。与党で改選過半数(63議席)を上回ったが、改選前の77議席には届かなかった。
- 24日 ○英与党の保守党党首に選出されたボリス・ジョンソン氏がエリザベス女王の任命を受け新首相に就任した。欧州連合(EU)離脱を巡る混迷からの脱却が最重要課題で、難しいかじ取りを迫られる。
- 28日 ○高気圧が本州から張り出した影響で、道内全域で気温が上昇。今年5月下旬以来となる35度以上の「猛暑日」を十勝管内で観測した。29日以降も厳しい暑さが連日続き、熱中症とみられる救急搬送が各地で相次いだ。
- 31日 ○中央最低賃金審議会は2019年度の地域別最低賃金の改定について全国平均の時給を27円引き上げ、901円とする目安をまとめ答申した。北海道は2002年度以降最大となる26円の上げ幅で、このまま反映されれば最低賃金は861円となる。
- 31日 ○東京電力は、福島第2原発全4基の廃炉を正式決定し、福島県に伝えた。敷地内に使用済み核燃料の貯蔵施設を新設する。完了までに40年超かかる見込み。

8月の出来事

- 1日 ○第199臨時国会が招集され、重い身体障害があるれいわ新撰組の新人議員2人が初登院。受け入れのため設備改修などのバリアフリー化を進める国会が開幕した。
- 1日 ○セブン&アイ・ホールディングスは、不正利用の被害があったスマートフォン決済「7 Pay（セブンペイ）」のサービスを9月末で廃止すると発表した。7月のサービス開始からわずか3カ月で撤退する。
- 2日 ○ロシアのメドベージェフ首相が北方領土の択捉島を訪問。日本の中止要請に応じず強行した。日ロ平和条約交渉が停滞する中、北方領土の開発を急ぐ姿勢を内外に誇示する狙いがある。
- 5日 ○トランプ米政権は、自国通貨を安値誘導しているとして、中国を「為替操作国」に認定したと発表した。
- 6日 ○総務省の有識者委員会は郵便サービスの見直し案を了承した。通常の手紙やはがきなどの郵便物は、土曜日配達と差し出し日の翌日配達を取りやめる制度変更が必要だと明記した。
- 7日 ○道教委は来春の道立高入試から願書の性別記入欄を廃止すると決めた。自分の性別に違和感を持つトランスジェンダーら性的少数者に配慮した措置で、道立特別支援学校についても同様の措置を講じる方針。
- 9日 ○国土交通省が道内7空港民営化で運営事業者に内定した北海道空港（HKK、札幌）中心の企業連合の事業計画概要を公表。7空港に総額約4290億円を投じ、現在国内線のみ空港にも国際便を就航。30年後に旅客総数を現在の6割増の4584万人に増やす。
- 9日 ○内閣府が発表した2019年4～6月期の国内総生産（GDP、季節調整値）速報値は、実質で前期比0.4%増、年率換算は1.8%増だった。
- 12日 ○香港から中国本土への容疑者引き渡しを可能にする条例改正案を巡り、香港国際空港で12、13日、市民数千人が大規模な抗議活動を行った。両日の欠航は計約600便に上り、アジア有数のハブ（拠点）空港が機能停止に陥った。
- 12日 ○韓国政府は、安全保障上の輸出管理で優遇措置を取る国のグループから日本を9月ごろに除外すると発表した。日本政府が同様の優遇対象国から韓国を外すことへの事実上の対抗措置。
- 14日 ○ニューヨーク株式市場のダウ工業株30種平均は急落し、前日比800.49ドル安の2万5479.42ドルで取引を終えた。下げ幅は今年最大。
- 15日 ○安倍内閣の閣僚は東京・九段北の靖国神社への参拝を3年連続で見送った。安倍首相は参拝せずに7年連続で玉串料を私費で奉納。
- 16日 ○台風10号と台風から変わった温帯低気圧の影響で、道内は17日まで大雨や暴風など大荒れの天気となり、列車の運休や航空機の欠航など交通網に大きな影響が出た。
- 18日 ○香港の民主派団体は中心部で「逃亡犯条例」改正案の撤回を求める抗議集会を開き、主催者発表で計約170万人が参加した。トランプ米大統領は、天安門事件のように中国が武力介入すれば貿易協議の取引も難しくすると述べた。
- 27日 ○厚生労働省が公的年金の財政検証結果を公表。約30年後にモデル世帯の年金の実質的な価値は2割近く目減りする。現役世代の収入に対する年金額の割合は現在の61.7%から50.8%で下げ止まる。
- 28日 ○トヨタ自動車とスズキが、資本提携に合意したと発表した。従来の業務提携から関係を一段と強化し、競争が激しい自動運転技術の共同開発に取り組む。

9月の出来事

- 1日 ○山梨県で行われた陸上の記録会の女子100メートル障害で、札幌市出身の寺田明日香(29)＝パナソニックグループ、恵庭北高出＝が追い風1.2メートルの条件下、12秒97の日本新記録を樹立した。19年ぶりの記録更新で、日本選手では初の12秒台。
- 4日 ○政府は、カジノを中心とする統合型リゾート施設(IR)の整備に関する基本方針案を公表した。立地区域の選定基準として「経済、社会的効果」など5項目を示した。
- 4日 ○香港政府トップの林鄭月娥行政長官は、中国本土への容疑者引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案の撤回を正式表明した。
- 5日 ○国土交通省は、JR北海道による10月1日からの運賃改定を申請通り認可した。平均11.1%の値上げとなり、JRは年40億円規模の増収を見込む。
- 6日 ○最大震度7を観測し、関連死3人を含む44人が死亡した胆振東部地震は6日で発生から1年となり、厚真町には献花台が設けられた。
- 6日 ○政府は国の文書で日本人の氏名をローマ字で表記する際、「名・姓」順ではなく、日本語表記と同様の「姓・名」順を原則にすると決めた。民間にも働き掛ける方針。
- 9日 ○台風15号が首都圏を直撃し、JR東日本が「計画運休」を実施するなどして約277万人に影響した。強風にあおられたとみられる女性ら3人が死亡した。千葉県では大規模な停電が発生、復旧が長期化し生活に大きな支障が出た。
- 11日 ○第4次安倍再改造内閣が発足した。安倍晋三首相は衆院当選4回の小泉進次郎元復興政務官を環境相に抜てきした。
- 17日 ○根室市の納沙布岬の東方沖約640キロの太平洋上で、十勝管内大樹町の大樹漁協所属のサンマ棒受け網漁船「第65慶栄丸」(29トン)が横波を受け転覆、乗組員8人が行方不明となった。その後、船長が船内で見つかり、死亡が確認された。
- 18日 ○観光庁は日本を8月に訪れた韓国人旅行者数は30万8700人で、前年同月に比べ、48.0%減ったとの推計を発表した。泥沼化する日韓の対立などが影響。
- 20日 ○江藤拓農水相は豚コレラ対策について記者会見し、養豚場の豚へのワクチン接種実施に向け防疫指針の改定に着手する方針を正式に表明した。農林水産省はワクチン使用に慎重姿勢だったが大きく転換した。
- 25日 ○日米両首脳は、貿易協定の最終合意を盛り込んだ共同声明に署名した。日本は約72億ドル(約7800億円)分の米国産農産物の関税を撤廃・削減し、市場を開放する。米国に輸出する日本車と関連部品の関税は撤廃の対象から除外。来年1月1日にも発効する見通し。
- 26日 ○厚生労働省は、全国1455の公立病院や日赤などの公的病院のうち、診療実績が乏しく再編統合の議論が必要と判断した424の病院名を初めて公表した。高齢化で膨張する医療費を抑制する狙いで、異例の対応。
- 29日 ○JR北海道が札幌－富良野間などで30年にわたって運行してきた観光列車「クリスタルエクスプレス」が老朽化のため運行を終えた。
- 30日 ○東京電力は、福島第2原発全4基の廃止を経産相に届けた。4基は正式に廃炉となり福島第1原発の計6基と合わせ、福島県内の原発は全て廃止された。
- 30日 ○「ポケットベル」の愛称で親しまれ、1990年代に流行した無線呼び出しサービスを全国で唯一展開していた東京テレメッセージ(東京)がサービスを終了した。

その先の、道へ。北海道

**北海道議会時報
第71巻第4号**

編集 北海道議会事務局政策調査課
〒060-0002
札幌市中央区北2条西6丁目
TEL 011-204-5691
E-Mail gikai.seisaku@pref.hokkaido.lg.jp
発行 令和元年（2019年）12月12日